例入症の金剛丸で変由上陸、同七陸継の監例入症の金剛丸で変更上中の大野城所縁壁は非八日合せのため東上中の大野城所縁壁は非八日(季山電話)関生度度算その砂皿製成形打 時急行にて京城へ向つたが、左の如く誰る

10 一年五百小型に近位を行、大河川及砂砂一年五百小型に近位を行った一条八百四型を介が近いな砂点が等の方十二年出版の計点も包含されてある。 教育にたて北側の計点も包含されてある。 教育にて北側が対している。

たが、たい細目に並て多少の出入を生すたが、たい細目に立て多少の出入を生すたが、カーニー 三直風に落らついたが新衛の末衛く九百四十二、百四世にあつたが、近世の大衛(九百四十十六世)

みたいと思ってるるが、普通教育の徹底な年次のテンポを担くする必要がありは成年次のテンポを担くする必要がありは成年次のテンポを担くする必要がありは 果して十ヶ年計畫は時代に適應し 

明年度度以上大體政府の旅解を得

日伊南國政府が政治協定を冷慰す。は二十七日夜以上の顧問を否定しらだらうとの観問が有力な場へ、 られてゐるが、イタリー政府當局所が成コミンテルン協定に参加す。週が事實代したのではないかと見

普通教育の徹底に

に飛出すことになり、十二六日附これを機能に置き尾煙薬に整種解

明ぶされてゐる(質護は勝氏) 一門五子元を給する等十些に風點 監順せる者には 飛行機一整につき 作戦に出た、哲金派は師長五英元 を興へる問題表し支那一歳の買収する者にはその身分に関して資金 を動告し、更にこれと同時に随順

返づき竪震理事館の招集を要請し

行革と議會對策に

政府は全力集中

上海廿七日同盟 級追軍の百選

能長三萬元など、交武器を持つて

選進する方針

釜山で大野總監語る

[ローで甘土日間盟] イタリー政 ると除へられてゐるため庶上右観

伊太利政府の意向日獨協定に参加の要はない

經濟問題が眼目

いる日本政府の經濟的一政府はエチオピア植

につき末だ何等公表しないが、ロ

・外交界の消息によれば新樹花一き特別で便益を享受するものと見

られる、戯中日本の紡績素のため 北上恋野なる風料資風の暗保につ

加えつけるとが好望観されてふる

エチオピア殖民地において温花を

1911 政府當局は右脳定の内部

**塗げてみるが右折衝の結果日**伊爾

マノ伯との間に敷決に亘り脅談を 「ロート十七日同盟」ロート語語

、日本政府はアチザベバ駐司公 ・ 日本政府はアチザベバ駐司会・イ タリー政府と第四級を事立上派記 リー政府は第四級を事宜上派記 リー政府は第四級を事宜上派記

國合併と瀟洲國を相互に承認すると共に

日本がエチオビアで棉花の供給を受ける

新協定の骨子

統治是態の其間的内容は末だ物

府はニチオピア強民地においてエ 明しないが、新館定により日本政

白霊廟占據を機會に

蒙古軍を懐柔

將介石氏が積極的に乗出す

止め中央軍に儲り投ゼよ」と歸順 『気音楽に迎る性を観表し 7月古

茶化品を召され御内庭を配 次官、百武侍從長以下側近 源後内所、松平宮相、白根旅方を専明殿に揺かせられ を始め奉り御毛京泉族二十高松、三宝、開院各包展下 に御祝品を御贈書あらせら殿下その他各系族方との間 させられる。なほこの日 開催下にはこの夜六時から 祝いふそばされた 脚筋巣のうちに住き日ヶ朝 父宮殿下を始め奉り久邇四 健下には皇太后陛下、 て陸進度第七億3千萬國を加へた。よって陸戦は最としては立く右ことになった。配して明年度に於「斧原をきさわばならの觀察にありを脅戦しるか主言と成に更速する」総の決定等に職してこの聴展極戦を行いた。 軍事質は費に十四個に難し、この一に関し軍要協議が高されることで

**赵内昕、松平宫相、**百武侍 側前ひにて午前十時より湯天皇、皇后、附昨下、義官様

仕者などに理説仰付けられ官長、白根衣官以下側光茶 探賀を受けさせられた

細蔵版を迎へさせられたの

一十八日第二回の

(田東市語) 飛河正仁親王

しょしする

ンターナショナルに對する機能及シで日憂間に署名を丁した現産イー東京電話」 去る二十五日ベルリ その別路議定書は、二十八日の官 日獨防共協定 けふ官報で公布

# 惡性軍需インフレ

極力防止する 近〜陸海當局が協議 報を以て公布された

総議関の整備量が全行に選出の考し書いるり、配中民間簡単の施系機が入下の間の関帯部行に続い、 競技県としても租基書のの要する人は八千の間の関帯部行に続い、 競技県としても租基書のの要する。

にも転觸しないではないか 「ト大党において、ソヴェートの「ご、その他世界一般明でない」、「前かと学は社会とは日下開診中の類人同全寄りでエー、スペイン問題でない」、「前かととはない。」、「一大学人工を登り上さらの活動に、「一大学人工を登り上が「ノケ」」、「一大学人工を登り上が「ノケ」」、スペイン問題でない。「一大学人工を登り上が「ノケ」」、「一大学人工を登り上が「ノケ」」、「一大学人工を登り上が「ノケ」」、スペイン問題でない。「一大学人工を登り上が「ノケ」」、スペイン問題を対している。「一大学人工を受け、一大学人工を使け、一大学人工を受け、一大学人工を受け、一大学人工を与いました。

【モスコー二十七日同盟』ソヴェーで右撃明は次の東方に続に帰れる 関を行ふに決し、目下草室起草中 世界政策に関する極めて重要な聲

## **舰學官會議**

資水型落局長統裁の下に開盟され つが、その日程は 日より三日間本府第二層議会で 鮮各血學務課長及患學官實施は 一日より開催

選手と、第三期(原和十八年)三百 に持つくものと見られ、約三五 では大野風監の輝田によって麻漑、入野武殿の再被派響である 選議を第二期(昭和十八年)三百 所を建設し三式工業に提議、選議 トン、第一期(昭和十八年)三百 所を建設し三式工業に提議、選議 では大野風監の輝田によって麻漑、入製試験の再検派等である では大野風監の輝田によって麻漑、入製試験の再検派等である では大野風監の輝田によって麻漑、入製試験の再検派等である 大野風をは本情の遊客を放送します。

腓局適切蓄事官は廿七日午後ソヴ 【モスコー廿七日開記】モスコー

依り高に堅認理事會の招集を要依り高に堅認理事會の招集を要任了と政治は聯盟規約第十一保に「政院」する現れあり依つてスペート。

位置によって結婚の決定を見、本一準要的に廿六日和國々境地態で目、「代の中は是非とも必要でありこの」を含くしずって、テキー指表着主人

然るにカズロフスキー極要部長は

ート兵の不法雄境につき抗議した

明はこの滞離施設室行はればなら、個兩関ル五十歳名が趙頊レソヴェ **双として約七十萬国を要す。べる皆述へ嚴重取領方を要求した影地決定は先決問題で、そ」~ト國苗製師隊と交職販時間に及** 

有文へないが将来を考慮すれば七

級は世のでこ いひつけに反きやると、もはや容 「えいもう聞きがのない。この上

るやうに、お真の着物へ手を掛け

「不漏者める」

招集を要請

何にも機器にお真の標元をぐり

威。世界の諸侯勢派正に斯の如 突如として陸に海に温風の窓

ふ塊酸。まあ茶番といふところ 馬占山が出て来たっとなくさ

登力を採中することになつた。行「る方戦で、四相能議は実出長気の」是も悪くも十二月に具體数を訴んを送して決定するに至り、政府は、し次田長宮は具督説の成為を急い、産業指導を目標にした中間が膨散で変して決定するに至り、政府は、し次田長宮は具督説の成為を急い、産業指導を目標にした中間が膨散であるが、職に、一、工業の指表を表し、企業指導を目標にした中間が膨散を決定して決定することになった。「日東統合企動機論の實施を決定」しては徳内祖を中心として地方の開発が、一般に、「日東統合企動機論の實施を決定」しては徳内祖を中心として地方の開発が、「日東統合企動機論の實施を決定」しては徳内祖を中心として地方の開発が、「日東統合企動機能の實施を決定して、「日東統合企動機能の實施を決定して、「日東統合企動機能の資施を決定して、「日東統合企動機能の資施を決定して、「日東統合企動を表現して、「日東統合企動を表現して、「日東統合企動を表現して、「日東統合企動を表現して、「日東統合企動を表現して、「日東統合企動機能の資施を決定して、「日東の政治、「日本の政治、「日東の政治、「日本の政治、「日東の政治、「日本の政治、「日本の政治、「日本の政治、日本の政治、「日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、「日本の政治、日本の政治・日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治、日本の政治・日本の政治、日本の政治・日本の政治・日本の教治・日本の教治・日本の教育・日本の教治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の教治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の政治・日本の教・日本の教治・日本の政治 和土二年度度第8二十七日の開議。4四日前議・五日部議と戦が観光。及師並かに謝謝状足の年記きをと「東京の語」総大二十位美術の昭「歌郷緒職革に職」ては目下それぞ「具置系異れを得つて願謝を用き可 において何等の波瀾もなく鑑識時一中であるが、既に四相曾識におい「るはずである、更に五相登識にお 首相は陸時各閣域と前見、職間封 の趣歌は全面略に歌歌者派より吹る歌歌方面の空襲等より見て歌府 策に對して打合せを選げると

開館する五相智識に提案され或る 程度の見造しがつけられるもの

對政黨關係に遺憾なきを期す

て、過股の議院制度問査費に於け 見られてゐる、耐して政府が最も

四、 事が中間を持ちている。 中 ペイン合法の関係ができる。 のは、事質上スペイン共和國に 別する侵略的行為に外ならなし 、更に叛軍首観するショ形軍が 、工インの新の支配下に関する 注意に於て、辺節の自由を阻止 では、事質上スペイン共和國に として表認した。

本日夕刊十二頁一調殿へ奏公によった上は出世する 変別迫る。お母童をお大切に

メキシコ我公使館 暴漢に襲はる

ははつきり制らぬの手配だけしたが、辿中が果して公使館を覆づたのか通際もにわることたのか突然低盛が開えたので手配だけしたが、辿中が果して公使館を覆づたのか通際もにわることたのか七日午後日事もなかつた脳づきで譲る 方針を早急に決定して明備に着子 することとなった

一般する数さのもない。そなたは

「お妹し下さいませっ」 つこれ、逃げいでもよいぞの

らせと見られる。公使館では真一を虚りメキショ外務省に奪威方を要求した。但し井鷸通深宮は二十たので繋頭二名は現場で逐鹏された。個人は左戴ゴロらしく成コミンナルン協定に憤慨してのいやがつけピストルを総構選ガラスを破壊した。公典館頭「同は直もに消滅して養滅する一方養際に急襲してメキショ市世上日間盟」廿七日末明メキシュ市の日本公典館にメキショ人製蔵穴名が自動地で乗り「メキシュ市世上日間盟」廿七日末明メキシュ市の日本公典館にメキショ人製蔵穴名が自動地で乗り

防共協定へのいやがらせか

◆第一日 [午前] 剛次、指水「午 ◆第二日 [午前] 剛次、指水「午 ◆第三日 [午前] 聽取事項、答申 「午後] 同上 「午後] 同上

たやすい問題

一個八十四 鐵 一個八十四 鐵

一、あなたの群しい御住所と姓名

世〇の家〇藁メンソレータム

三期三百萬噸が目標

干分は清津製鐵所で消化

新漢の改正統則地統領域、規格、省に護山統領の一元化を主張して「所統、指載電政員、手政は行用に大野城等総数、現政権度、規格、省に護山統領の一元化を主張して「による諸政院のが政策は引立派の大大野城等総数、現政権度、規格、省に護山統領のを同に對し、商工による諸政院のが政策は引立派の無数の改正統則地統領域に對し中「魏については三翼主衆をして経営」るものと見られてみる。一方陸運 新設、清重義政闘、済政憲部団を一てあるものは警通政府倍加協定地による清重勝の移城或は引込級の一であるが、今回会議の中心となつ

期に求めるが、関係とするかはそ一スキー極東部長を訪問、廿六日蘇 エート外務人民委員部にカバロフ

大野總監歸城 明年度像

政務総配は世八日午後三時十分帰原は面のため東上中であつた大野

此

◆錦伽海車大佐(本時御用樹)二十七日賦海へ

染付はきつと願くと同時に、如一摺り倒した。

性に運命づけるものと知れ上。その成否は赤化行動の将来

は公正である。端州國本語の紀一「ほゝ」。これはまた町人の娘に 何事も譲り急いではならぬ。」まで落ちようとするのな、お前は 身を語つて危く止めた。 着物は限口からするりと背へ滑つ ツといよ間もなく崩れて、お馬の 容赦もなく引かれた拠光は、あ一「耽ぎや。」。

つともないて わらははそなたむ 「何をそのやうに叫ぶのちゃ。み」「火しも職れることはない。わら でご 死人のやうに頭垂れた つにくくい。馬鹿な女子おや。 今はឈ念の脳を閉ちて、お英は「は、はい……」 一萬。そなたは仕合せ間ちや

と思ふてのことおやの本来ならば 響を、たまそのやりに導かしいと、輝う顔をいるでもらはねばならぬ ばかり云ひやつて、逃げらとは水 それどころか、からして肌を見たが出来ようが、おそらくこなたく らる美しい肌を持つた娘は、たい が太鼓明を築して進ぜる。この御







なたにも出來る

送り先 抽籤方法 當選發表 文はお買い本めの集出でも親切に取扱ひます 竹門洋行大縣賞係宛送り先 京城府社稷町 切 れ十五五毎に三銭切手を貼り左記へ御送り銭分は二個)の裏面に答を明記し封筒に入メンソレータムの二十五銭以上の外函(十メンソレータムの有名な標語となります。メンソレータムの有名な標語となります。 昭和十一年

大運石 美 小美罐入メンリレー 二色シャー 三雄特選 時費へどれでもお好みの「品」十名 正解者全部に Ø 解内有力新聞紙上 解内有力新聞紙上 を指数を行ひ賞品を を用数を行りで賞品を の御希望の品) 正解者残り全部に贈呈 大 *i* 優 質品が當る 良石 プ 鉛 筆 一本宛 時 ă. **融** 一打宛 二百名 一個宛

金剛丸が威力發揮

したが、お野話自士服名、赤十字人工祭。計『子野乳別郷古郷を聞る間の行事をしたが、そのとき第四回

配割館本部でもこれに近座、諸極 日本赤十子デー」に際し、赤十字 一方八月玄鮮一斉に行はれた「

情能な「家庭の改画か「墨鼻され」で、大蝙蝠歌が絶えなかった。 「一一一一一一大名十五日第一緒につれてじて、途に妻の死の抗点とより」で、大蝙蝠歌が絶えなかった。」 「一一」 よる十五日第一緒につれて、 といい といい た家庭の不利が用しなをつくり家を外に跳り縛らなっ こされないので、 巻げたいとの話い

した若松島所館の女中所府市職品

一投稿さしてゐたのな、現在花さ

お原性の風味 全般天氣豫報

妾と邪推 してるたが、

**兄城本町、はりまやすし、の慘劇** 

八扇縣是次中身他就珍妮扯生,就一样一样。 (廿七月) 世兵

秀な赤ちやん

たさずに弾んだか、明珠しいづれ

間想でも大いに整治なで「政在 の成力を起いして既なことになり

汗ー願三川を五時間走破の優秀船一一、二時間は船の方で取場し、 快速力で時間取戻し

指揮の日光分間に合せますから御

安心」をと話り陸院列車を得つて

ろ大忠雄氏な新町泉銀に馴染み

有 伯

仁川の浄時

午後二時五十五分が城。着の後山 れも一時間遅れ一般にしたが同日

十七日午前からほ言のため列北不」 歳は流く開通した。なほ恵山郷

零二米餘でミ零困難

思はせたが、昨日の恐惧でける を示していよく 本的的に多を

惠山線は今夕復售か

三社合同炭鑛救護隊の結成を前にして

大時らたのおけいこ(東) 大時らたのおけいこ(東) 大時らたのおけいこ(東) 大時らたのおけいこ(東)

平壤鑛業所高坊坑内の椿事

**時間十三割見常で年末本官興を「人事謎の見當によると一人平均官** 

頭のボーナスで十二月十五日には

通原が観せられた、三千人の高等「年と帰ど同じであるが下続酸餓ぉ」を開始するが、何分にも本年度は

大いに小

面店の領勢をあげるこ。出たさものと寄々研究中のほう

各種に現合か、強縮配して新といなりだったの、強 **京城商工組聯積極的援助** 

> に復か南山の曖昧場損塔の下に して一味十二名から成る路

加い品を押収した

一甘い掘られしい表情を持つ

ナスの胸発用かストーブの影ののの神道しゃにより査定を始め来

**賈上百萬圓を目指して** 

同財三越で女の着物を前引してゐ

※城本町器に打、及川州府軍は東一穴を掘り面断へ縁品を置くしてる」が可っを見難ら夜無途の御手術。

たのを開い一味十二名家部連

廿七日午即四時 三天東城府外四日

軍用犬を購買

一月六、七日に

砂取。近する機争郡生れの奉命家 、同生李熙成氏方から妻一叭を ・ 原里を降成氏方から妻一叭を

を取押へ東大司署へ突出した

用力な配属せしめるため数十度な 田部では上大方面第一級形成

**企質出を實行** 

|宮二|| 萬人の物性質、四萬人の展は|| ーナスの率は好くしてあります、 の大川帝を擁する各島縣は人事部(続いた人とか、主任線で特に活動で石成人の鉄梁は、合計人萬三千人(それか、近京凋ぎ館の委戯として

丁五日

齊に出す

人世帯の總督府は

# ボーナスを狙ふ歳末景氣

### 理屈、カフエー野々大意駅の職々までも指さんボーナスの 繋ぎん運、それから先のお流れは各テーバト、本町原、粋(〜)に選集須順で登極へて ゐるサラリーマン、それを狙ふ てのボーナスのヶ走りゃは例华通り朝師信託がイの一番に 「リの「ボーナス」が配前にプラ下がつて、身も心も浮き ケ年の忠強の賜、下半期の強勉振りに聞いられる塩タン

けら廿八日に恭しく節令を出し二日間トックリとボーナス

内域を含、その他、大、中、小の館社。銀行、商に等の給館、に世日はボーナス繁雅版の家庭が約四十割で支給日は 強張が同年通りの州割、東州がやゝ方つての甘五割、 十五日の師走の中旬には光づ大所の總督府職館を始

委員へ事態長は明かに限つた 朝鮮民曆献上

過級必要に改正した匿を歌型中を召中に献上することとなり、 総質府では片例により朝鮮民暦

の處。この観出来上つたので総一を行ふ

臟品

11

省を通じて飲納の事的きを執う

痔痛にペルメル

八州\*\*で女島二栗城京 ◇ 會樂音の女高二第 業者とカ学時 - 後午日 ◇ 會樂音の女高二第 音樂音のこったしませか何に、近談語や打型を分量進度で上陸を含 ノアビーに明音 に明暦でつは加ま員舎『はきと』の生義名はに ――明合の生中五は異對――たし、栄養天大な彩の大変

**廿八日朝十時学ごろ京城館詞町金 │第の契所で逢曳して離らない** 

炭火を弄んて火事騒ぎ

幼兒の留守番禁物

味桃屋の桃の間

マヨネーズ

へ逃げんとしたゐたところを本町

両東批合しが火撃の最大を弄んで、氏はそれとも知らずウメ子と造つ 英麗方で留守屋をしてゐた長女の、自気をはかつたものであり、忠雄

ンプでオンドルー部屋を焼いて消ーウェ子と高級で運輸をとつて大阪 人が認思、直ちに出動した消防・川戸町地岳原館に投資、永で浦の

正めた子供は幸ひ百勝しなかつた 竹添町の泥棒サビー後

家族の慰安會

るて歴武に数えいつたのを附近の一てかい永年市から仁川に行き、仁

その古事を約30股州職は、 
失誠の南鮮中心地となり、 
失誠の南鮮中心地となり、

監査液ペロル

毎日のお食膳に 秋晴れの行樂に

都々逸ながしい原良節くつし

月光價千金

榎

健

戀の繪日傘

臉 桐

Ø

母

吾東 海 代林 三郎

東海林太郎

朝鮮式建物

めしいること 従町と異なる點<br />
(英、短用、

万益に「風水ੌ歌の補助勢を載行す、好流を飛騰することになった「西益は「自出心地によ」「風勢、手能りと小型、映画等を上演、歌ないからればいい。 同は抽籤数は、胃上一個低に一枚 消防(地及その家庭)数であため州日社を担て一月十日島城 ため平常(脱粉に握はる敷装管脈に 十二名の萬引窃盗團を檢學 8、前野外宫,京都、出家大,京城北督教制中曾では府民治安、四日京城麓、参山、下願。 「四日京城麓、参山、下願。」 

ボリドールレコー

\_ --町本城京

內科一般特二 關係學門

<sup>島井</sup>病 赤一**院** 

京城水南二十月或新山(B语水河(4))。 院長 影響博士 佐藤小

漸く艦にか

けさ拔錨、

佐世保

総策位町三三大共富町(こ)は世

ったので陸に上った河麓町、路校 [仁川電話] 廿八日改繹もおさま

天晴れ夜警君

冢を忘れ還らぬ夫に

夜なノー田子木が鳴らしてっお

10年前のです!

案に飼む大でも軍犬類が支那

クス 南から来たる オルケスタ・ティビカ オルケスタ・ティビカ フランシスコ・カナロ









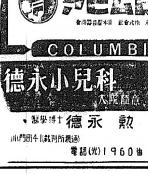
















社會大株透潘西小

特選毛布……粗景星上

# 、急坂を登るよ幾千尺

工事何想能の最を作服して國家第一より分散。平北的株工庁南連總に一この間の工程前的八百五十四周 川間六十三キロの路線を砂功せし、鮮中部圏坂山脈の重要たる山岳地「急坂を登ること、以下に、

行のため者々工はを進め位古、前一室る三百年中の中、最も続いの朝一級路の勾配は急に所で四十分の一 

潜る隧道廿四ケ所 **霧に五ヶ所にして霧名と盛間は左 花島祠の路上に哨帳部に二寸と三 | に残を敷却し代金四十頭を懐中し霧に五ヶ所にして霧名と盛間は左 花島祠の路上に哨帳部に二寸と三 | に残を敷却し代金四十頭を懐中し** あつた。价古、前川間に介在する でに除りある。この新緑の閉道に たがその成績は新に見る好成績で整各階段と他と新聞記言から派し の試運動を行ひ大和出所長以下 では二十六日路城の各場航空のた 元成の割である。平上野道・特所 方然数を除でところれ十六キロ 事が離工事であったかを意識す 男三 談銭の如きは二十五米に及び 短縮されたが十三年度には金融 れる全師一の記がで、如何に本

**・作者(八キロ)・前川(所型)り身元取割べの結果、慈山面売間、代金を紛失してみるいで崩縮の出て、三キロ)雲松(五、六キロ)。ある野宮頭科人が張男人。書した、中ではながれての質してなる。 観** 三キロ)質数(五、六キロ) ある男を通行人が観覚大場ぎとなり中であるが中々の無例である、例 一面銀世界(六、九キロ) ― 整直はされ如に発まって活倒して、たので最近り度際に伴れ込み加減 大安・吹撃・利息(一大、六キロ) ― を直はされ如に発まって活倒して、たので最近り度際に伴れ込み加減 大安・吹撃・河にして駒をを指揮して、する最高に立すべき)十少重級 ての帰途、前記書所で際にに渡っ まず書きへ降りて本格館の多っのにして駒をを指揮して

衆とにらみ犯人能採中

面旗路を進行中敷名の見置かトラ 職事徐相照でしてが柴山都北上 江面学守天所有の貨 い自動車 振落されて即死

ックに飛び付いてブラ下つたため

姙娠五ヶ月の身重

# 街の老勇士

【水原】前夜来の帰風で仕七月午一切の窓流だけに角度はふるひあが

平南辭令(記)

こが規則、別政にも目ら消火しよ

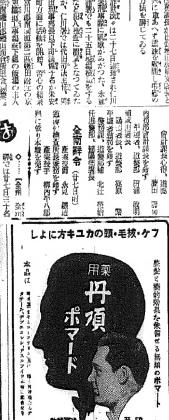


しいお髪

髮見思

の化粧はず

は



# 件特徵以

### 成川活長、道察部・寮田・政介 任道顕、衆道察部・寮田・政介 **西山岩县、道警部 孫原** 道藝彩植 北江 京沿 会開始了。 阿伯·西·雷·奇·京 吳門可丁里天都地 城 支 丰

## の東部官でこに助力を求め一味四とに四)を訪取し財産の営業都循盟里(米・ 風の謝極を定め関却方を依頼し十 **『七風劇編《後には後、雪を交へ」とては初雪で平年より十四日早く「が興ひ来り綱く冬来っら紅を変え」(公州)二十六日午後から荒天に「方法を縛じてある(金剛) 金州地方は中北日景道は「終日時間模様であつため、金州と「風吹き捲くり)河川 光学にして東洋 ・ 公州・地方にも、実に取あって進味** 是、いよく一般信頼を組織了のこ。| 新朗密線部で最越人間を開始、第一れで同次の推げる明念に明光を見る。 いよく一般信頼を組織了のこ。| 新朗密線部で最越人間を開始、第一れで同次の推げる明念に明光を見 いよく後は国を組織するこ 僞造の札束使つて

務所質議室で設め人所を別にで

など個人患者に関すとなってるた。 刑事際に肌欲かあかつた、永豆 全州地方《初雪

清州の初雪

州の初雲で昨年より六日早い 『新歌長が日歌物田太服文高表とは常片がもらく~舞ひ出した。清 沈本地では金巻に送。直も一位 時に混つて歌か降り午後に元つて、清 沈本地では金巻に送。直も一位 あしめたが、二十七日午期十時から うとして親つて歌声節がした。京し

「湯川二十六日夜荷の地方はか

去年より四日遅れ

であった右につき測騰所では左の如く御礼鼠 れにしても窓山白茂南線一帯は二十六日岩下十八度の間景 日七米といふ烈風が加はり殿内は一時大混乱を近した。 一十七日何來多し中城市地方は秦前與水明監、約二十二三 この季加にしては近年来の異現象である。それに原理

昨今花でも映きさらな暖質費・……あと三日で調正といる「重要」 冷然来の登載に使えてゐた北韓に……これに原外

あと二日で記述といふ

でまだ諸分風は止まないだらう、低氣既は昨日止年頃渤支方面にある高氣瞭二滴式頭頭方面に助きつくあるから今度の縁に踰明は珍らしい、昨今風の強いのは現在、北

**医方高いがやがて本格的に変援が急遽するであらら旬境低区二十五日のま下四度八分で平均平年に比し約一旬境低区二十五日のま下四度八分で平均平年に比し約一年級が表演するである。氣温の本は城神方面に選下現在北に回つて進んである。氣温の本** 権方面にあったがこれで東海して二分されーは中江鉱一 城津は烈風に雨の大時化

**今樣越前守さまの** 

手並を拜見

男女とも夫々相當な言ひ分

離婚請求の珍裁判

が既か九年間的協を働いてゐる被 五日質却せんとし巡戒中を逃げる は莫大の假派に上り司法保では 水川署で殿道取制へ中である

**林代の詐欺賭博** 

町方面に活動を開始、否心の結果、際に依り本職を発す

はは、中国の最初の他はつま人 を怪しいとにらみ二十七日小明 時日宅で連邦、同日初校出港の 曾國山巡迴山面的明史 意风悠。

|地質||直第三區|||佐田附江の京

なんと二千圓も捲き上げた

一味中二名に判決

豺出沒

豚四頭咬殺

11千大十六回を驅収したもので「慢中から呼片の塊が現れた、同人」で急が増々むきあげて来た、金は柳麓藍氏外11名から功みに合う。 他しみ本器に連行取調べたところ「天人であることが態度になつたの中旬までに埋け地質が両途が出」を間と「金」が低ってを平線影戦か「女二人に直は緻をさせたところ真孔機体を行ひ一月作言から九月」を開建二金」が低ってを平線影戦か「女二人に直は緻をさせたところ真孔機体を行ひ一月作言から九月」を開発して

は去る五日類義州から嫁る途中台(京川城町から称三里も既ににいつ懐中から阿片の塊が塊れた、同人・で懸漏想をひきあげて来た、金に

取して後被告は徳山防道園町料 知り添洲、自語の放工場じてる がその收入の金部を帰居に関へといふのである。 なはこの耐人に でも収入が充分がたいと被告を 對する議論に近て開発されること 度景、添加に行けば二百風解の 攻入があっといふり被告は衛 になってゐるが、大同級戦の議義 初に覆づたが、その部分に関係しているのである。 なはこの耐人に は他の女と結婚してゐることを「の話述」は他の女と結婚してゐることを「の話述」 森里に対か揺れば里が程、北部質 今段し内臓を決り喰つて逃げた。一学時間、李亨朗四個の阪四頭を咬 [清州] 十六日夜流州郡南二面山 発展がは十三回四十銭 名に係る希代の詐欺賭博事代公牧 **致院自本町農業、企園以一人外五** は廿六日午後一時から諸州法院支 電気に明む、事實を用の後を破

懐中から阿片

権人したものとにらみ目下取制へ 優したといってむるが同器では紹

日の雄川際主催の題 かなかつたがこ十六

作りのた三門順

販賣業者は一人も居

深毛赤

本品の大特長

-ところで新聞

近取扱い「合理化」

質量所に集めて「荷

三門順子品

毛ら志

君

が

代 6

か

ſ

ばかりの荷主と商工

達したものである。 個人ににあか 一般者も参加

あるが単に十日はど跳つてある

から見て形容が、関を荷出とする際と新聞を荷出し、沙里県、関連・

好かれことも聞く懇談性とあり新

度 定 粉製五十錢 粉製五十錢

よい事ばかりきく思徳照と

確訴訟を提起した。その理由は

のさんを相呼取り笹山府宮平町 「主山」現所関係立省に出む内山

丁目内山聡浩氏―何れる假名― の程签山地方法院民事部に唯

告は無事家山し、昭和十一年五7年代月前別の大学には、昭和十一年五月前別國アンダーでカ和十年九月前別國アンダーでカ南人は昭和八年正式に結婚し昭

関係を結んである 裁判所では被告

九年間に一旦る

ハッさんから答照書が到着したが

玄米を盗み運搬中

濱仲仕つひにご用

内大成一郎・京できた年前編作は、遺成中の初末の内十一段、百畝十一年を書したの影響を置けてあた街、産産棚等を踏んでは費到、十二日 【木浦】九年間に亘り木浦の窟を として働いてゐる中女王、松花、

受難の清南校

「清州」既報、弘立清南県校の権である 削途に曙光

野長から旅館絵幕末形通り妻大成

適當な資件者を搭続いのて朝鮮人 世紀帝間題は行後かの状態に降り

の「被決言でしがあった、なほ他のは原役十ヶ月、企働とは同六ヶ月

五名は所在不明で起訴中止のまる **謀して資産家をあまったから** 被告一味は本年初めごろから

内上協工版武師的近を徘徊してね一中である「平野」二十六日午後四時ころ所

|上川|| 圏の朱安附近の山中で田 合田の女二人を表牙にかけた 京東鐵道工事場

朱安の痴漢 森下組飯場の主人

機の物川縣―治院の森川艦 地方有力者 賭博

知め三十三ヶ所、その機関の高き

「寫眞説明】」か

時間一時間四十分)

関陽変正契罰金百組▲季証ガ入十 は野米西北狐となり正平和本部の開遊五十日人自任金に編五十日人 司参与しき政府があり翌二十七日 北九金融持郷数2 下月▲東北金 と二十四五日の遺紋に二十六日に北五日の周から左の通り峻端さ に二十四五日の遺紋に二十六日に

誰でも感心する効果

は朝米西北風となり正年頃は船 り午後四時頃より吹雪されく一

吹きまくり領温脱に下り除当と より風も雪も疲へた の山野は白雪に壁はれたが七時 南浦の初雪 氣候激變に

田舎道に血達磨

籾を賣つて歸宅途中の慘禍

強盗に襲はれたか

領温意味下、明け方から戦時本年 中から朝にかけての突属に収益 風で火災を割づかはれたが午町七 初の陸雪があつた、領峡の衝塵と で一時に常に領担か昇つたが、 時頃便行里で小火一作あつたのみ 「調恵浦」廿六日午後からの陸雨 

B び病後衰弱、精力減 結核性病患特に肺患

花島河の路上に咽喉部にコサと三|に脱を登却し代金四十国を使申し「殺鼠衆きするが二十七日も既はや【大馬】廿七日年前「韓原語山面」河殿野大浪(た)、戦明、同日市日|なった众州地方は夜中より縁続に 【天安日本月の落鉄期の晩雨町き一であつた 一面銀世界

溜池に浮ぶ への死體

本歌詞(中 特定特性の一分年が続い、金銀に 四人相と同様の女を設してあたの金歌詞(中 特別の第一人であるのを通りかくった。六日即鳳鳴里で吹っ渡さんと記つて黒代 所郷著では連続手 随かがんであるのを通りかくった。六日即鳳鳴里で吹っ渡さんと同んとなって黒代 所郷著では連続手 随かがんであるのを通りかくった。六日即鳳鳴里で吹っ渡さんと同んを歌詞(中 本歌詞)中 身許まつたく不明

漏電酸火を消さうとして

が吐にたる。水モンとい

(上) おおられたい。 行型の方は底

オーキンギーを服用すると

日の高階線が切断が短して火を噴 **卯九時事ごろ水脈解南方。『阿町入』つてある** 感電して無残即死

いてゐるのを附近の命明光さん(

內技能理 質量が素技心得、地質が素技を命ず 理以縣、能圖 阿附 等旨

共に取あっず進味を駅間し用船の



こて概能循道して急返する。化が半を出せば没料不要代金世界が明一一大川米像生物研究 し直接差異方回、九回の二列。別五十段、原用 <sup>矢オノ王者</sup> **コンドル 受信**機 360型¥2800 315型¥4700

五九九本質・目丁二町 東勝京 館列陳

、 病はいることは もの見てのホル もの見てのホル まの見てのホル

洋服裁勵講義のトンビューに 

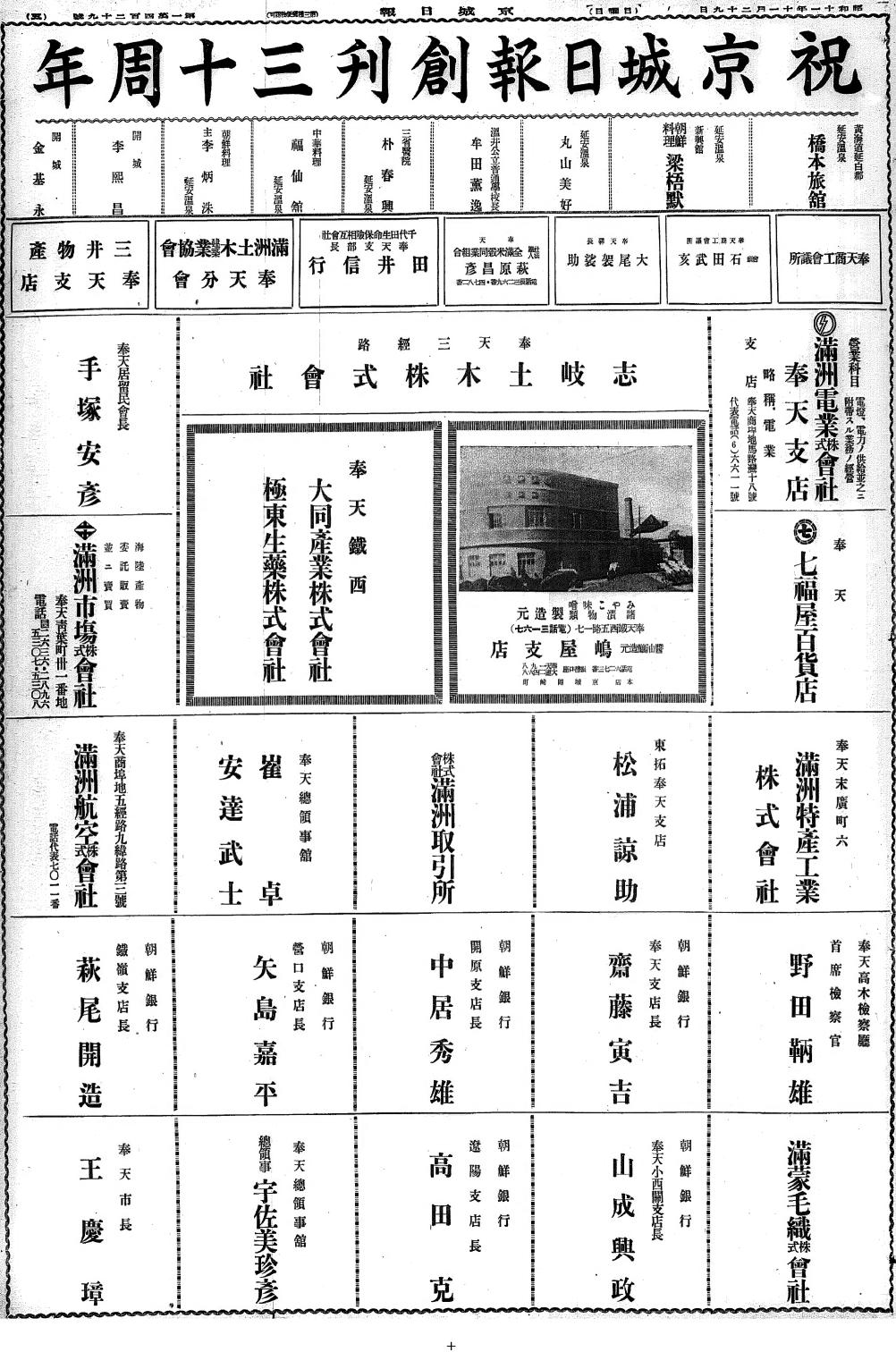
動いてゐるので それ・\ホル それ・\ホル 退に 肋膜 商報送呈 ( ) 特 製 琴 拾 八 平 式 拾 型

市南区西清水町三五(和県高問屋) 本質・素質を関いている。 金 國 九 拾 金 國

イーバア(ボラクダ) 東大原 囲 遨 商 店 論はりまや本店

が紹のみでも

みホルモンで





勝りに問題を重要であり、世人〇男派と関心を そ否か?成れ他の報言として此世界り去るには を近り期りに聞く、果して之か良相を望つもの れば原田内開獅士与中の蟲だを揶揄非前する豪 局長官吉田茂つ所副内間三長官の配在か助もす 出耳長騎所中本、法勳向長官大田大三郎、制<u>五</u>現内派の三羽島として今を時めく大帝頭、郡 たからと云つて、之を以つて直もに名コンピの ことは世間同知。通りだが、如何に立版な人材 いづれも一粒頭りの申分ない大物ごろびである 晋田の解人にせる。常陸内線の大道回しては 之を伴へることとしよう、無語にせよ、父表目 洲とうものだけに一艘戦… 表面話の一端として

制局長官、吉田內與關 是局長官) そんなもので館は恋く貴にその際にも帰って作業の働き館り、飲い地域をおげったす。は年歌の働き館り、飲い地域をおげったす。はの第大四十二、四十三、四十四年組に駆す、何 我一九となって…などといふことは能力之を宿 の特異性から考察して掛らわばなるまい、元來 追随を許されに長を決備した関語にが それだ みつ (知道によより解析内閣街記官長、ラーム この三人はいづれも内が側に育つた態材で、東 ふことが無則だからである。それには元づ三十 けに国都の国民に統制統一を関する、つまり三 程化三人は一人々々取り上げて見れば

藤沼書記官長

肚よりも足で活躍

は現人生活等性の等極も一道 は だが「肚」が無いといる際。 於ては現人生活等性の等極も一遍 は だが「肚」が無いといる様になっての時間も、交後流代離士。 駅 まね屋に彼の機場像が確はれるのしての時間も 突後流代離士。 駅 まね屋に彼の機場像が確はれるのしての時間を は西院と蝶紋の一定の草種をせい。あることは公平なところ否み聴い部のて来た所謂古野人、型く見れ、オクチョコチョイ想され、嬢ひの一部のて来た所謂古野人、型く見れ、オクチョコチョイ想され、嬢ひの一 て項に浮世を深いで来た無ても境は国別と政策の二足の英権を買い 本教館代を始め、精れに見る。庭一で、理論めいた四角でめらしい政一定が、結局この語風の中心を在す 上、中生れの本年五十四歳 いても暗への男、自ら「野武士」 され、紫視器気を建て動気となつ一つ平御気とばかり、取ら大ぎつば 水として度を増々しい事。を『歌 は第三野祭部長時代第一次大はされと含った質励実肌の働き手 一年の帝大田で、蘇察行政につい 特河野記包長は城木の面、明治 と何し或は「产勢人」を関切にす 四十一る如果にい利潤省、革動的イチナーやうな担憂も生れずに置んたので 「娘たどに直接タッチすることは親」 所以である ロギー臭など無にしたぐも持ち合 ものとされてみる

### 吉田調査局長官 頭も腕も肚の中へ

(可認物便郵種二第)

であつた時、個々次田は地方局長

# 次田法制局長官

目のない紙館な剛須振りは、實に「平前、彼が未た丙婦各時代のこと」即断型で打てば難くといる感覚の「平恒丙限でも出現したら、無詰め」「中間、彼が未た丙婦各時代のこと」 大將と同郷に隣山の産で、藤沼氏一於ける首相其他各大臣の答案メモ | 一之に對し次田法間同長官は宇宙 | 百パーセントと言ふべく、議器に 對し、之は交合微糊刀の如き節腿 大田だが、駐沼が實際家型なのに と同学の五十四歳、四十三年の帝一など殆ど此人によつて作られたと も卒のない男といふべきだらう。 言はれてゐるのでまり何をさせて のと思はれないことだけは、動か からうか。というはれるのではな

院として終始させたくない。 否認 録おやないか……と見られるので い悪脳の働きも、利き益等に手腕「長を乗ね盗に蜿蜒にまで暴地」や、かいざら生物患されら変は、最し、次田は内が大能として発出局でからら生物患される変は、最 は蓋し北晋田に一日も一日も置か。田が弥働で法の失敗に置を続に協して見れば後輩だが、人物として「として勢力對峙の敵形にあり、吉 いった観じのする想だ。一個の間を概るに至つたとゆ何と皮肉た際も巻く肚に包敷料中されてあると、日が同じ局級物の内に對立の陣形

らく彼自分与交周国のカー到底此一ある

で五十二歳、四十四年の帝大出の安建さ相の下に彼が心動局長官。古田副章副長官は郷鮮の五片り「る徳説を具へた存在だる。蔣中内副

だと言ふから、勝沼、次田南人に 紀で五十二歳、四十四年の帝大出|

政界へ投げる興味 間がを送ることは聊か極寒の限ひがあらら、 色黒が を唯無明と外面から徐楽学化群品を使り付けて漫奏性が何くの器閣がニキビの城等ソバカス欧州の城寺以機の内部から建生する皮膚の無路 が只当部にだけ出来で居るものでないから變から變からと吟聞してながあるのと効能を述べ立てゝもニキビキソバカス吹出等の性質その物 五博士家研究無代進星 色黑吹出赤顔等の原因と治療法 體内から除去するニキビや客球 一日も捨置けぬ醴内毒素と悪血 僅かハガキ一本の申込で直送

すことが州来たたら、恐らくこのとして盟田首相か上手で残びこな 恋にもう一人冒田と言い有力に存 はあるまいかと思はれるのだが、 として頭田首相か上手に呼びこな人)だ。だから帰済と「人を番頭 物は何處までも人物なのであらら 一宮にして営へは火田は一切れる つたか、矢殿 何八を記しも人

かし切れずに 互の長所を生

が続、岩田、鯉といつた底がある が造め射といふところで、次田 という話があるが、常らずとも決

出来ないのだらうか?其の責の重 夫々那古附陣形をなし、ピッタリ 外 らば何故からした大物が

に一盟となつて廣田を纂言もし父をの長所を巧に攝然が用して行く この三人の大番頭で信任して、夫 の底から助ける気はにも

操縱下手 ハルナーの主情気能は間内の側質に最も適した内に繋へルナーを検明されたのであります。 大・水谷を三元性の五大学士大学が合成研究の上窓に東洋人職の代には報う別館なく却で戦性肺をよう機れがあるので行わたる代には報う別館なく却で戦性肺をよう機れがあるので行わたる。代には報う別館なく却で戦性肺をよう機れがあるので行わたる。此代館の内職戦は東貧人能の第三般戦された戦勢故に、社覧人能・比が譲

て見ると、時間には郭かぶい形だったこの三長官を用魚に何へ

いふ色分けになるやうだ

肚に在ると見るのが恐らく情臓で あらう、絶理が直貫の腹の底から 野は縁する遠間田總理の手腕より 乗り

無代何人にも進呈!

既、我五太懷上太孝が職力苦心の結果我的教養を正しげます。 おれていまるの親親は、我想的命に就ての女心は意、野解病の手に出籍性人にも無称選挙します。 イガキヘー成から色は、実しくなる方式法書人にも無称選挙します。 イガキヘー 現から色は、実しくなる方式法書人にも無称選挙します。 イガキヘー 現からのは、実している。 體濟生堂製藥所 東京市良橋は築地橋際にルニの

品川區大井寺下町 2香地 濟生堂製藥工場

●左記代理店及ば全職各等店が本築の効果を信用し進んで取べ販錠す

森松阿上佐星二倍田木圆秋木與佐東 近 口岡留野慶光堂 置下岡吉下島木亜 置下周古下岛木亚 



代益その眞價の謳はれてゐるのは實際 本がは古くして新しき生命を有ち現 的の薬効がものを云つて居るのです。

患の適楽とされて居ります。

一下腹疼痛、ヒステリー 一般足冷込、めまひ さしけ、肩髪、一宮 宮 腰足冷込、 宮

◇・・治療は早く

これを指すには中郷場の服用が等しく企業されて取ります、それは現代管盤界の源型ホルマン分割を検験さるしめ、配付を取録にして、解して下層はを開発するには果を開発しばなり、配配して解する形成型を表現したもり、配配して解する形成型を表現したもり、配配のです、文中解説を観まるがしまった。 (金) の できやえ込みを励くと同時に卵むもよくなり取の健康と実容が生れて繰ります。 (金) の できやえ込みを励くと同時に卵むもよくなり取の健康と実容が生れて繰ります。 (金) の (

薬の『合効果の中將湯は婦人疾的にも優秀な事が認められたる和漢の人々が、幾多の經驗と苦心研究の人々が、幾多の經驗と苦心研究の人々が、幾多の經驗と苦心研究の人々が、幾多の經驗と苦心研究の人々が、幾多の經驗と これには病氣の根本に作用する綜合 郊果の原因療法が必要とされて居 は、ありふれた一時押への手當では 複雜微妙な婦人病の治療に對して 飯の上の蠅を追ふ」やうなものです。

秋が深くなるにつれて動気は陰間に残くなるのでが人師のだなどは、当けした不忠常を命えるのでが人師のだなどは、当けした不忠常を命えるのでが人師のだなって原宗が戦くなったり、疑眈が観さなってあったが、関邦を報んでもやえ込みが限です。とか、民間が観さか、受力・関邦をはかが得かたり、成時を戦が弱ってるに、概念、関邦を教養したり、の歴を戦が弱いて、だん(一般の野が経過して次るとい、品間が表して、だん(一般の野が経過して次るとい、品間が現場して、だん(一般の野が経過して次るとい、品間が現場して、だん(一般の野が経過して、であり、一般が表情となった。

がに帰入病に催った証牒と思へは間違ひありま

冷える 込みに御用心 にかなった。東

秋から冬へかけて

亢進する婦人病

あっと云本像は使して取らしくありません。 ると云本像は使していまればいるのかはかえた機になり思はい理解が思いていまないでなった。 突にも壁機がほどうかかはいると、フェら以来にも壁機がはいると、フェら以来になっていると、フェら以来になっていると、フェら以来になっていると、フェら以来になっていると、フェら以来になっていると、フェら以来になっていると、フェら以来になっていると、フェら以来になっていると、フェックをはいる。

(定 價) 賦用分 ¥ 20 3日分 ¥ 100 15日分 ¥ 200 23日分 ¥ 300 40日分 ¥ 500 85日分 ¥ 1000

WIDE. 天 順 村 津

見丁三頭區構本日市京東 八〇六京東西展 二六個本日結電 目丁一筋機關長鼠磨市販大 大五四 阪大醬版 五二 開起取 お子のアレにも!

手套をはめてお寢み下さい就寢前ウテナ花印を塗つてお唇りの時は 翌朝は見違るほど美しい青

冬のお肌を護る!







+ 籡 鏈 は多に手離せぬクリームです。お化粧が出來るのは勿論、アレ性のが 扱けがします、美しくて永保ちのする た健康色に、脂肪酸の方はすつきり場

政保久 新本 とはナテン 保てます。

血色を良くするマツサージ

関連なく塗って三-五分間マッサージ

お化粧前就寢前にウテナ花印の少量を

しますので血色の悪い方はいきくしし

しますと血行をよくし皮下脂肪を調節

お肌を美化する洗顔法

質別が性のウテナ花印をお用ひにな皺肌アレの心配がありますので、良皺肌アレの心配がありますので、良好であり、難しいのも洗顔です。殊好であり、難しいのも洗顔です。殊好であり、かいの美のために最も大切なのは洗お肌の美のために最も大切なのは洗 退なく塗つてガーゼか脱脂綿で拭き 南掃されるばかりでなく皮膚の深部 るのが何よりです。小量をお顔に高 こるだけで、正穴の中まですつかり



北端東京石 各古屋上路水一湖沿山 不能東京石 各古屋上路水一湖沿山

京裝本町 三 田 政

西鲜大阪行 田 海洋 日 元山 日 古 群山文日 水面平日

在一个世元日 福度市公月 簽山四日 青岛石 安康——芝罘——大地——参口 會 鄭 丸 仁川元日 顧問期四日 大地行 ○世多航行船 長崎寄港 阪神一陽門

玩獎號 | 紫鶴 | 宮碑 | 坻 | 田園南浦 日 | 日 | 田

殿州行 箱胸丸 神

大学工艺、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》 一个人工学、《一个人工》

大和組回 **允** 土 月 日

つい流の時から代王に歳\*\* 何故全國の醫家産院がこだって うぶ湯には花玉と御指定にな ての大きな事實を御理解下さい つてあるか 位,本

益十 個

阪大・會商瀨長社會式株鹼石王花・京東

的 現場という 正位 5/3/30

經

τ

ij

十一月廿七日 十一月廿七日

百日咳

醫學博士

唐澤杉三先生推獎

咳には中毒性のない薬を

往々頭痛、眩暈や、危険な中毒副作用を伴い配です、然う强い痲痺性の薬は服用後に咳は難症に移行し易く、發作は心臓衰弱が咳は難症 ひますから特に御注意下さ

性毒

安全薬効を誇るべ 7

が適であります。 「職人」の には、 の特性がありますから、一般たんせきは勿 の特性がありますから、一般たんせきは勿 変を祛りて呼吸を楽にし、其上に心臓保護 変をはりて呼吸を楽にし、其上に心臓保護 ない。 安心して服婆出來る理想の新翻ですべルマンは斯る中毒性がなく、老人 老人子供も

其他たんせき、嗄聲、呼吸困難に良効

肺結核の 結核の咳喉頭カタル

各地販店にあり 三試二一五十月 十四回領

·**沃度は發育の極く悪い小兒に對して 其の發育を促進、沃度は姙娠母體を强化し胎兒の血液を淨化すテーハ際共** 

# | 全身的な二方面を有し、革新的新强壯勢果を有し、其の作用は局部的にして而る。正に一劑にして治療强壯榮養の三大度の特性を活かして作用せしめるのであ度の特性を活かして作用せしめるのであ消化吸收良好、毫も副作用を有せず、沃 消化吸收良好、毫も副作用を有せず、沃豐富なるヴィタミンA・Dを含有し而もネオス・エーは上記の如き大量の沃度と 劑として推賞される所以である。

して生體を元氣づけるテートンルはもして生體を元氣づけるテートンルはもとなる血液の循環を治癒せしむ(エッキュ)を関する。沃良は新陳代謝の最も活液な促進剤であるでナードは大変に生體の新政代謝の最も活液な促進剤であるでナードは大変に生體の新政代謝の最も活液な促進剤であるでナードは大変に生體の新政代謝の最も活液な促進剤であるでナードは実に生體の新政の最も活液な促進剤であるでナードルは実しまつて加速度的に総質される(エート、ゴットリーアは10人の表別の指端度を大変に対して、血液の粘端度を大変に対して、血液の粘端度を大変に関する。 沃度は内分泌機能を旺盛にし、綜合ホルモンを増殖 し、無毒の物質として體外に排出するラニンベルを博力的に結核菌の蛋白質と結合し(殺菌)且つ 毒素を中和に遊離元素又はイオンの形狀に於て積極的 且つ選擇沃度はハロゲン元素として 强き親和力を有するが故 する諸権威者の

能官止、老院清賞の多く

質受結腺

性核病 體感質

豫腦高

防溢血

血壓

スカ肺肋 等リ結膜 工核炎

王女多随

しかせば實用さ度 でにし副でをれず になめ作あ件てさめつ得用るふ來へ 藥

だ新時代

ネオス・ビー

ネオス・エー 100粒四個三十錠 100粒円個三十錠 100粒十 八 個 100粒十 八 個 100粒十 円 個

人文薬品部

徽期期毒 毒遺第第

~ j

かしかりや

\* ŧ

にしてますので――』 「へえ、資は十間はなれて歩くこと 「君、新婆はどうした!

「ううんこれ弟の背景よ」「マアあんたの上著装敵ね、 流行珍問答

・いつこさへたの」

伊融之

導入り込まんといたしたな、さて

正方があるまい。よくも比較まで

れ出し、衝魔様のお假屋の内へ

つやい、 畜生、 もらからなつたら

と、今まで唯呆然と眺めてゐた

りあ罪にび遊

そでしもの誰など

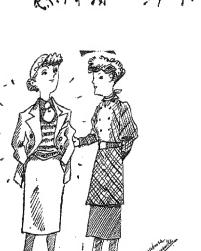
よだのたつかなけい

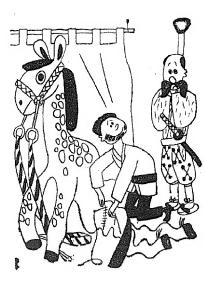
0

音 Ħ 医三 8





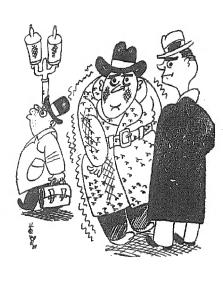




居芝大の村 『ナぞや番出りも んど衛兵作 しせつらく つからく サンち 「ながやんるてふのビロコエコ今



ちたつ道を前の新影響な難いなれ慣 たんあわる





酒 女給三『あたしる。もう『杯』』な給一『ペイボール一杯頂頭な』 塢 L 濟 怖 水

地器打つて磁さまに行つ倒れた。 人々も初めてほつとし、一人が船 『おッと、合點だ』 と 精の前足を観上げた。不穏を暗 ひこらへたが、やッと片足どあげ くと押へつければ、流石の流清も

勢子にいたるまで、 老臣朔士の面々、まつた藤郎組 御殿処井能量守を始めと 置をこの光景 「ふむ左係か、して年齢は何能な 平内と申しまするこ たしまする強励、平左衛門の一子 6

(のるてへるよ故何 て着ーバーオなりさか吸り ドよだんな童観:ガミガの屋服準れあ ツし)

る來 出心 安らか心 /造構いしら晴素

と、能量守線は透く御窓百選ばさ の事をお殿様に言上いたしまする ったに、十五歳と自すか、ふむ・」 お側付の家臣も呆れかへり、

心立てト、ドッと四足踏み鳴いし

突逃して來る奴を、ウンと踏

た猪はこの手に掛つて頭類別と

しづめ、何うなるとかと際きもせ に驚き呆れ、手に汗握つて鳴りを

探み合い押し合い突き遊み、暫く すると平内は、いとも恋に双方金剛力を出して、互びに ふど、蛇名を申立てよ』 は同けず劣らず地み合ふて肝りま めて捻ち倒さんと相撲ひ出した。 情もさらもの、鳴ら盛は心感く、なら怪力である。お眼標の御憩な

十型タンク型

七石 十石

(其他各種掲載型錄贈呈) 東京原稱區銀座七丁目 株式 天 賞

堂

No1 60 No2 80 No3 1.00 月號 45 花號 90 (文中一本付) 星 號 2.00 銀羅號 1.50

致します、ハガキで申込次牢優美質用向腕時計責任保

なり躍りかくつた平内は、猪の首 ならし猪首を突き立て振り立て、 AIIII #後へよろめく奴を、いき 原然と飛びかくつて取っ精()、 /玉に双手をかけ、調がの力を発し駆けあると、 「何かは堪まりませう、流石山路」 大力無双の平内に競りつけられ、思はれぬ趣見事であつた。

3、彼の母分を欺調べよッ。 汝の最前よりの働き 人間楽とは お協付の一人の特、平内の許い

です、それなる少年的く存て、

バリス型 上十型 七百 五円五十銭 同 十七石 六円五十銭 八型 七石 六円二十 八型 七石 八円 二十 八型 七石 八 円 同 十石 十 五 円

値だあつて、大いに御器足の顔色 なし、その場を立去らんといた。 その位領政権め家臣の人々に敬願 と、交も肩間を一つ打も置り、 御殿能量守続はこの個を

新不留や監察マロで製器を監事 中国専門東京 郷際高く駅派部の心配な人。 中東京市会会區 銀信への道里観覧を勘路度化で 製の効目を貼してご

何事だ。これでも唯ヘッ。」

平内は縁を掘り固めると、平を

お町をも伺らず、暴れまはるとは

「やア、一部里の分配で御部上続の

少年猪武者

E

勇

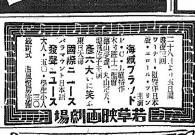


金井蘆洲 噩

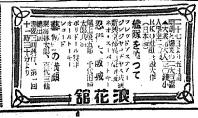








帶經月

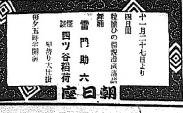




第記 代付 九型三味型 金大 チョーム セ石 大円二十日 長角室 引廉 同 十石 七円四十郎 チョース人型 セ石 九円二十日







新發賣 30錠入 40錢

坡

京

として實驗諸家間に愛用 (設開海網由越水器准星)

感冒、氣管枝カタル 肺結核、肋膜炎、

(日曜日)

百日咳其他……一般に 咳嗽喀痰ある呼吸器

諸症に推奬せらる……

50FC T1.00 液 100年 等.85 別に大聞人包裝

全國知名藥館

三共株式會社



第1日間 第1日間



四五

六七

Д

九十二二三古古去大

Ł **X** 

-Ø

900 9900 900 900 900 900

-**#** 

(自) 三三以下のトピーへは是 非もありませんが、四十と打込む ○デッメは、狭いので ないでせうか すが、高つて自か では、マナスは、そのでは 「無」四一は『を十六』とッケ マメな、次では「ち」四二で四三にツイである 「無」四一は『を十六』とッケ 「は」四二で四三にツイである 「無」四上は『を十六』とッケ 「は」四二で四三にツイである 「無」のは、みす (利力されですから 「のば、みす (利力されですから 「のば、みす (利力されですから 「のば、みす (利力されですから 「のば」のは日四重とコスまれて、施張り 「のは日四重とコスまれて、施張り 「のは日四重とコスまれて、施張りません」

州るやらに思は 日の左上方面の 一つて白四三とで

では、無方利の運びとは考へたる顕示を見るが、潜の自三三以のたる顕示を見るが、潜の自三三以のという。

評解

開刊

に、書らく疑問当あらう は、書らく疑問当るらう

なてロッエ音配でえ

な寶、重、てい戴されば喜てつ贈、

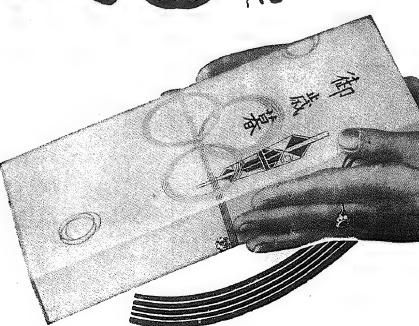
后夕少是

決定的の御歳暮御贈答用品

御贈答品中最適の御贈答品ですいつも重賞として賞讃されてゐる總ての御家庭の必需品ですから

なり、心から其好意が喜ばれますすことは、眞に御贈答の意義に適ふことに毫も無駄にならぬ質用品を御贈答なさいま





店商屋見丸〇國兩・京東 简本 篇524

朝鮮通信社內朝鮮通信社內

(定個一個、排留沒科大經)

内閣總務廳と

めんとする衆を決定し、法職局にしなくまで總督記を読げる関本部湾登録本部としての極能を有せし」となし、測量局、面の意向として 離に弥逸節節の巨動に瀕して研究。 居政産業各その恋野に贈じ親務既おいて右大利に基いて月下絶務態。 の質問だらしめ、經済整誠は急遽

**茂山鑛鄉 開發問題** 

大體製品は民營を以てすることに 内自計算是明的に就ては既にがい

内定した模様で、これが製陶器級 局では災所計費の研究中であるが

最生計長、芝張代二島初は廿四

島、内閣が海局龍に陸軍方面におしこれに新聞し得る。中であるが、これに置し内部制金 は内勢語が地よっ代。

通丁:産業には対域域がの至合」を持つとは、恰もかつての内部は微を決定すると同時に、内外地を一その上に記述に確なるでき島が続かい、原外地を一つ上に記述に確なるでき島が続かい、原外地を一つ上に記述に確なるでき島が続かい。

【選系電話】中央行成階域の敗や | 反対たとの有力な反射離が浮取さ

てめ收を果成

政務総証に主々識の成果を難し出め去し、三日、東土中であつた大野

政問題等の緊急、最後問題指揮のた

「好い」が、さいに茂山原語明

二百九十、回に、死債等利差とこれが、大橋明年度だけで、この後継ば大橋九百四十九、回のうち、政定総元百四十九、回のうち、政に総元ので、のかし続い、大橋明年度だけで、この後継ば大橋明年度だけで、この後継ば

順行。漢種の適用は本材が度で言 重要産業が制法の 般會計繰入は

この中七千五旦黒圓五ケ年織段での中七千五旦黒圓五ケ年織段に続いて現に、一部十三年度に離城県はと

**被**階成らを原用一先づ歸伍した、八月午後、展十分配度無行で天谷 機算機能での他に就て關係方面と

学曲紀二跳路三約束すべき制期的大战長記載をはじめ半島の第二四十歳長記載をはじめ半島の第二四

び第上。平本帰近の割であるが、職の打合せた意け十二月十日前後世

中原で元潔にて次の如く語った

明年度豫算は大體

經濟會議の關係

波國、小協商國の

エート解定に参加したいご言明し マニヤのアントネスコ氏に良ソヴ

財政制定に参加しないと見られる であるから歌りく小四面図三図は 蘇條約と違ふ 日獨協定は佛

交流的際上皮特別定に計及して

英政府緊急閣議

「ロンドン廿七日同盟」イギリス 」た、、、ラルド・トリビューン氏の野。。他と度と示す傾向か現れて来

んに消貨権を行ってゐるので言語

日期内書の「根別」とい数するの程度は、「は共産主義打倒を目標とするイーは共産主義打倒を目標とするイーの程度は、「相互関係の「根別」とい数するの程度は、「相互関係という」という。

テルボス氏は二十七日年第二版外、第に對し比二版「角紙な、度を売し」(パリサ七日同画)フランス外相、来政府及び一級興敵に日海原均協

院共興定以外に何等かのに関定が

就することを目れらしてあっと感 うのみならず認定が英米兩國に對 存在する如く異しゃかに既へてあ

警戒的態度

【華府卅八日本社特電 | 如きに甘七日の紅上で 目される米の輿論

と論じ、暗に日本を発動してある

が小伽羅國代献職を目されるルー、の節色激分類は東京都に成み下す。と言いれるが小伽羅國代献職を目されるルー、の節色激分類は東京都に職一所の態度に「目立って希腊」した 日獨協定に

別が出た。一國の途立も寄ったが船 数として出版した北平大様の機構 たが開始で、平洋回顧支加主席代 「極調に話」と中洋で船にシブ オフ・ジヤバン號医廿八日子 機関に入り

現在の支那における表面通過に ・ 直着これに扱いれた小さな武 ・ 表面でにはい、後のて中央軍 の東方によって開催されるもの と見ふ、「調節共陽道域がは着中 所軍なラデオによって開いただ。 けら今は同じも高へない

國の對日常論の動同に極めて祖日か日の原定以立を機として今後来 日伊協定説に

獨逸は沈默

(H)

令を越我したか、職 地口の気がいを動明して日く

**歴代表彰出歴した、歴史ゲッベルスで原担に護術工能経験の方針を資明し報節能に交襲「話に踊して『蓋『師言』種度を確認する時官言し、法【ベルリンけ七月前盟』ドイツ墓二院の三回年次大衛は三十七日ベルリンで開催し ヒットラー毘絨を初め金融はその他気間の声観、ナチス文義** 

ハイネ亜流の

や的批評を禁止

近行記保険証用調技を向す 保険運用調技を向す

本府辭令 (計八日)

受信局保験系型課長を命ず 京城暨地所長 都田 京城暨地所長 都田

道に對し、ドイツ政府は北野を守 国以府の新徳定を時緒したとの報 【ベルリン二十七日同盟】日併師

**お途博士語る** 

通商條項をも含む ルーズガニルト大紀観は二十七日 ル大統領演説 造の可能を基本大々的無いを扱う上下解説の意义な外来にを前に一 した後、 アカス大統領・位・午午館に出席。 大統領に先つ

で記法を治かせ

野科 1. 被令に明初九野科 1. 対分に明初九野科 1. 江大り難行せた方法を以て行び、特に方法を以て行び、特に方法を以て行び、特に百分類合い場。不例金を高加出の元法を以て行び、特に高加出の元法を以て行び、特に高加出の元法を以て行び、特に高加出の元法を以て行り、特に方法を以て行り、特に方法を以下行び、特に方法を以下行び、特に対して、特別の表表を表示。

るので 特に 相に残る のかで 特に 相に残る のかで 特に 相に残る のかい あれるとき 認っているとの ことが必要になっている とが必要になっているという。

Post of

治療上の

新結光

日丁二百个市函大 ○ 品 藥 田 黑 體 日了三町本市京東 店支

【モスコー二十七月間盟】二十七 月の金岐がソヴェート大道におい て極原州人民委員務所長 極東

0

重備元し(蘇聯極東州長)

をであった。 「このなんアリー」

(例記人知申込を乞ふ))

**職諸大家の賞讃せらる・所、未試各位の御實驗を懇喝す** 自性障害及特殊の非病原国を基礎三して創製されたる中間が "核諸症、肋腹膜炎治療及豫防寺に驚異的に奏効する事は良

活性**酵**素注针:

コメッ

(優)・選(受)、防能組修免費及を送の行…でに対し早起せる効果あり。 受其他清明の結核性疾病等。殊に初期(核、小足誘摘構質、一般場内観)、 (7)が組後、肺は潤・肺失加答句、肋 2)が非、肺門淋巴峡炎、膜経核、粒三縁

た、イタリー政府貿易は二十八日三前十一時新協定成立につき左の如く發表した。直り會談を遂げたが右會談の結果日伊兩國政府間には既成事實承認を含む新協定が成立し

認門狀を海洲國政府に要求した、但し新京には公使を派遣せず(一)日本西府はエチオ

ピア植民地を含む街イタリー 帝國や承認アデ ザベバ駐衛公使 館を撤収 し領事館 を置く (一)イタリ 政府は瀟州國を承認しハルビンに總領事を置く、イタリー政府は既に領事

(一) 新協定は別に通商上の特殊條項を含む

防共協定不參加

ローマ二十八日同盟1ローマ駐割杉村大使は過般來イタ

外相チアノ伯との間に敷次に

我們以下自己。 第二十二十五十五 ボデジヤネイロに前着ガアカス大 一後かりプラジル関連に続 型質学ンン氏の歌言 につ、て

一年にインデアナポリス號にて

滿洲國·工國承認

日伊新協定成立す

ゼン並にアデザベバに領事を置く

ども回頭に遂行山来よう、熱僧と、別題する城二来説問題な就ては政府は前の好当と以て涼 雅の要合等の資源もあり、可な金融機構的設も、金融機構的設も、金融調益質明 鮮滿一如の方針に

されったど大意康に辿り水湖・しかる昨年は十二月末心もからたただなびと言はってたことに非常た意びと言はっぱならない(高真宮境群の大町はならない(高真宮境群の大町 線人金も大威省の要求より減少では呼品の重要性を開発して、 同明平度は問題の折面も

ごも角半島の判別

原工先の工作の 原工先の工作の のため廿八日午後二時列群大公 ルへ官民前三百條名を招待、松 ルへ官民前三百條名を招待、松 ルへ官民前三百條名を招待、松 るる限つて二千町歩

節頭の中心問題である工業限の國

過以東京で開催された内外地略が

が取りなら月給を上げっ様にすったが、

**本日朝夕刊二十頁** 

相傳宣スルベツゲ

務以上は該し数

発師性に「繋が配置」を置い、会に扱うでする。 合代りに整備の「駅は」を許容する る代りに整備の「駅は」を許容する

務) 東上中二十九年町













水家 をぐらや

いつも元気で 御子線は の発薬学数 計會式牒コリグ (阪大・京東)

ない、
慶聖豊には後者と対形を指しる間は前標と利用しなはことをといっています。そうに、これでは、たける魔を知らから『アルフレッド・ケル』に及ぶユダヤ人の下に成長しその新影響は今なほぼ、よっていイネー 絶對関連 ふここのない 様な言でなくてはならない、誤れる批評は、遺に『ハインリッヒ・ハイネー・九世紀の大批研究は使いに批評を事とせず批評するによっては先っ自己創作した、批評は、美術に到する謙・虚な僕であつて

するが可とを保持され、思ふかまくに親兄を何ばすことが概念する。 「國家」の批評だけが許されることとならう、、動便のもに弱いた関連を受ける原産の必要に関する。「國家」の批評だけが許されることとならう、、動便のもに弱いたのがもらきをけず言語に異態上の意義に関する。「國家」の批評だけが許されることとならう、、動便のもに弱いたのがもらきを対する原理との意義に関する特定の人士に對し義術批評を許可するに決定した。、語言に言うほどチス的考へ方と心情ない、、襲情報道には変き表現と高質を確認されてい、、襲情報道には変き表現との意義に対してい、、要情報道に対象を表現となる。語言に称意に合うほどチスの考へ方と心情ない、、要情報道に対象を表現した。

法令を公布

間様で決定とい 世界も僅か一時 ふ近来にない組 も湖足の間で

温比美館のい

THE SAME STANDS 本 椒

洒 \*\*\*

扱 4

₩₩

**さるため間氏しサ八日ごこへ駆** 

過過から北原及い南州上京の

上のガール・レーモ 解析が増減した北海道しての組

レーモン氏入坂

所愿物課世 中台 似一次附近哲地 中台 似 **東京語記載女** 田中 門

経、て入班午後一時か一間

◆に技護猟少將(河鮮軍参講校) ・ 日本は(葡萄選事)東上中仕 ・ 日本は(葡萄選事)東上中仕 ・ 日本は(葡萄選事) 7年一世(明年前社長)十

マタ

ダベ

B テ

ベ ŧ

彦

1

主行け取のでないかという。 実施であったが日時の関係の競技に除して澎洲帰還を

ード振りを示したが各層が



\*\* S PRODUCT - W

一指定承談したる 漫生記者とし、とう (一蹶人になものぢやつたが、政黨はこれ)

政黨の爲の

次の如く各種最高記録及び五牒を破表した

人へ、仲貴人から小鋄語へ、小寶

生産者から間屋へ、間屋から仲貨 換言すれば 各種記錄 學生聯盟より發表 (±

盟那方を建議申言したる断

朝鮮學生陸上競技辦盟には明和十一年度の成績により廿八日 5000米 110米高階碑 16砂2 4 4 秒 9

7米15

1米75 14米44 3米55

13米14 35米80

46米61 47米05

5 里位 5 2分11沙9

16沙5

4.4秒9

35341秒2 6米6 6

1米75

1 4 米00

3米50 1 3※14 3 5米80

4.6米61

光化門麻浦

脛マラソ

韓君(京城)優勝

朝鮮中等(影響上發對)

经英语常學基

場価チーム 本櫃 仁美(京師

金 李 金 李 金 李 金 李 金 李 金 李 金 李 金 李 金 李 奇 将 專 基 劉 達 爾 政 《 《 《 《 《 《 《 《 《 》 》 《 《 》 》 《 《 》 》 《 》

線 個(海州高) 質 塩(第一高)

跳跃跳投投投

800米

5000米

110米战场

400米鐵正

走 報 強 選

旅 **投**投 投

朝鮮學生陸上競技最高記錄 400本級 由高段高丸 關於 西班里 医水杨酸 棒砲皿槍

(异田工朝鲜新記錄) 【保 持 者】 【期 日】 [期所] 在 部 元 (國帝) 10—6—15 京城 金 額 元 (國帝) 10—10—27 京城 金 額 元 (國帝) 11—10—16 京城 椰 那 獎 (國帝) 11—10—18 京城 (殖 目) 100米 200米 400米 2分8钟0 八十川連信(裕大)11-6-13 八十川連信(帝大)11-6-14 4分20000 110米高温码 高商(中出・向野)11-7-18

400米鐵辻 1600米腦走 走走 一 高 設 島 統 統 統 1 米 6 8 越田 一脳 (高語) 10-10-27 1 米 7 8 山本 茂 (高語) 9-7-14 13米52 一辦(高商) 11-6-14 丸 投 松崎 資生 (高輝) 10-6-15 億久 三郎 (所大) 11-8-23 朴 寶 釜 (習成) 11-6-13 安 榮 慎 (閩県) 11-6-14 朝鮮學生學是學學學記錄

(交割は朝鮮制能線)

部 元(蘭邨) 英 敏(高商) 麵 元(蘭邨) 53秒0 八十月賦信(帝大 1500米 4分26位0 越田 一爛(高商) 110米時程 16钟6 張洪 植(高례) 高腐(中島・中田・৬・ 400米 撤走 46秒3

上灣 教雄(高獎) 島崎 昌(晉人) 韓田 一輯(高商) 1米71 6米54 13年52 11米955

結构 銀田 一軸、 行川 正數(高橋) 路崎 定性(高階) 中 寶 生(密成 写久)二郎(帝才 新(蘭)

日午後一時上り

理での世界治療界は初級英 理学の経済負擔に犯案と 記さっている。 開新の淋漓を殺滅する

条件、慢性症に異常なく根本的の殺菌に萎ぎ治淋を生た。 ない、更に徹底的なる再發の封腔に移改する。 と、更に徹底的なる再發の封腔に移改する。

患者は苦悩を最少期間に除き

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す

四張打の親分彭見間様となる。

百萬國も出せば福理大臣が買へる

手段を選ばなくなる。野心家、思 る。そして頭弦を揃へるためには

一つまり五四回なら茶頭。

践は大臣たるべからずと言ふ或憲 想起す藤公

のが今頃の政策の質用がや。こい

源原中の道思が幹部となり、幹

う
らやないか。そこで
幹部とない

版 数して居らりう。 ・ を が成立を代 ・ の を 数が成立を代 ・ の を 数が成立を代

たのは、幽殿常道と言ふ戦闘の御

力さへ設れば、必ず大臣なり政務

のける歴光学園以でなくもやなか

同時に交戦域の幹部になつ

この腐敗をさらに一層酸

政常道論

ですから脳所機には 水晶の代用薬は脈じ 求めに探して日東展 てありません。 御覧

阿明配下さい。 神宮―伽託文には男子用婦人用(三號)の別を

河原

会下し

(普及品) 一圓九十錢

まるで今の戦兢を四十年前に

長院病原吉廓遊原吉京東前 明發大の生畢生先榮藤佐

の真効を求めて根治せよの真効を求めて根治できる。 は、一日、遅れば、一日の治療がした。 は、一日の治療を水剤で、進行性を認識・一日、原発水剤に、たい、一日、遅れば、一日の治療を 根治は一日も連かに淋病の進行性を恐れ

全専門醫家の質

闘並に治療患者數十萬の例をもつ長き歴史に悲くのである。 に含むでなるとす。 たま

世界驚異の尿道殺菌偉力 数十萬の全治者の例に明白

の直旋間緩市民に懸ふる重要形とである。

の中央卸費市場問題は、既に

るべき京城町では張三覇立委政会の傾向を親し、その総称主題となり間の市場の地が新く具度化中央卸貨市場の地が新く具度化中央卸貨市がある。

朝鮮學生陸聯

0)

年度役員決定

往

全鮮選手權大會 マチュア拳闘

今夜の組合せ決る

一権大照は全日本アマチュア選手の

君の弱芽歌型試合を乗ねて廿九日ンオリムビックで翻録した李霊養

(城大山) 都市見会已(京都帝 地瓜正) (京城高商田) 山田伊蓮(城 大) (常城高商田) 山田伊蓮(城 天) (常城高商田) 山田伊蓮(城 天) (常城高商田) 山田伊蓮(城 天) (北)

的解

10-7-29

11-8-2 9-8-1

- 被五筆 朝拳 朴春緒 明學 の汚名を響ぎませう の汚名を響ぎませう 

適應症 性諸疾患,虛弱兒童、腺病質等 虛諸症、肺結核、肋膜炎 ・結核 惡性貧血、複發性貧血・其他貧

阿修设區域市區大 店商吉友漆藤 社會式株 即本區或本日市底戰

許特明證 題 佐間 藤格 270年 2.00 1000年 6.00 250年 13.00 外に勢末あり

活力榮養ホルモン劑

製劑

E.D.C.B.Aンミタイヴ 配合計體牛 ・ンモルホ 臓 肝



あ果効に進促生産体 是

る純牌職ホルモン 50度 1.00 300度 3.60 100度 1.50 (税来为 0)

精神経過性を促 通し、赤血液 の光経速度速 の光経速度速 の光経速度速 が淋巴球の増 加を促し、独 対を対して有効 語家に観告 を放送品す

や一般出血が多量にあたり、永額したりするとり、永額したりするとの衰弱を來し病勢を惡る危険があるる。 の衰弱を來し病勢を惡る危険がある。 は、血液避固作用躁動は、一丁ン」は肺間に奏効する。 は、血剤である 報告されてゐる。 「學病院その他各科器に獎用 血の治療法」無代選挙

**割** 1.20 2.70 1.60 **内服液** 5元 5 末 ス 2.00 ▲注射液 春末あ 9

紫斑树等 

血止服內

赤山

**阿太正海太田京都 店商吉太澤蓮 社會武株 54825**5

行くぞつ。ヨシ、や テやらうのボート 「やつ、あそこにペ

2、そうがんきょうでは3

『水夫さん、ぜんそ

4、厠長が自分でキカ

**事か秘笈を保受するが如くであつ** 動の小泉漱青七 点。 饗弟子の場

肌鍼を向けてゐる間もあら

人日本雄辯

キング文庫一册

**一** 干 名 名 名 名

等等等

+ +

| | 大日本維辯官體談批辭耶缸 | 東京市小石川區音羽町

五

五十

ンデウをつかつでう ち出ーた。團長は

ようすを、うかがつ てゐたペテ坊「ひや

デンの音も

のすごく

雄久林穂 巻のプゾイカ

京城府衛生課長

注意書が届きなし

立派な子供をつくつて「お上」に用立てる

南總督國防婦人會において叫

國房婦人翻門立一間平民党武に職事して大要次の開報替によっ廿五日京城府武部で舞行された京城

うた訓詁をされましたが、其一言学句に全半島

一家を整

よ

が故に僅か四ケ年にして、かゝ自まりは外にない、深いは、何良を贈してゐるのは、平郷二人 ○で常日約五千の頼歌に多大の歌銘を興へました。 の婦人に興へられた難街とも訓示とも見られるも 所からが頭を繋げてはならぬ はず ではない。即ち谷目の台所を駆 はず はず でまつて、育更たりの家建創度から放れてゐるもの はず はず しあつて、育更たり

員のも難するや

皇一図のほかになるほな子女

動をする際にしますいけません、戸外で短時間軽い避いけません。戸外で短時間軽い避

がっことです。しかし眠れな

という。これは、これはするとして、これは、これに関うて関防婦人會は代してあることはこの主義となって、自然は自然には、これに関うて関防婦人會は代して多い。 お申込なりましたか鐘紡工場見學團 あす

こある、以上の理由一学山出すところでしたが、この有 総設しました。 アメリカ

脚とに落ちました

一版したといふことです

他との間の氷を扱

さて今年の機能人口の結果を見る

九萬人参い次に市の(朝鮮の府に

全臓で男は女とりもす

先日不思議に徳星が送つもみら

ーフオンドランド海岸の神会 泥棒を捕へた ○○犬を表彰 進展をみる… 一院は干、一百里の探視の後でハリフ カナダ政府の東部北极万面の信意

総六十貫を解み出した泥網、緑川郷川町町料土泥上華醸(「こ)を出れます。まる二十二日京版高川高(緑内草館を破つて銅紙川のアー君だが、まる二十二日京版高川高(緑内草館を破つて銅紙 程にい、他の中に飛び込んで捕へた名大、主人徒田さん、萬飾者長 五カフェー「ナイト」 続田江三さん(き) が品の可度所附近に ACELOCを大セパード化二級のシ行はれた。高師総新常四の八八 で紫人(?)概能大の表彰式か

男と女の聞合は女一〇〇人に對 〇五・二人物であつて 男

か彩頭ですその識は色々ありま 男九八・三人掛で知つて女い 近我が國では下郷か



萬以上は卅七市

そのうち男を三十五 の内地の総人口は七 すと、本年十月一日 于二十五萬八千人、

田舎は女の方が多い

計局の観点によりま

雅計人口とは?

月九日の内開献一十

勘 (25)

一當流代

金易

法に参え徐介に布陣の整備に劣めつ、あらやちである。 東野者の四八級と上つたのは、 曹延かと、五歩と突出して截っと ころっちのが、要するにこれに一 の振りの一手で、若し敵にれに一 一世歩と受ければ、常然敵に増へ 二手取りこととなる敵。その賦を 狙つたものである

必殺の三四銀に

下手方果して抗し得るか?

た興趣のあらたに沸き立つ一覧が一切論同氏は本棋戦には初陣、ま

薬店食料品店にあります かいこのの は全國著名

ばれる! やお見舞に是非 お歳暮や御進物



五四 と朱書の事。 住所氏名は原稿へもハッキリと 「紙上匿名御希里の方はお書き

原稿用紙五枚以内の事。

□「の百字語」

・「のででいい」

・「のでは長妃婿意」。但し四百字語

・「のでいい」

・「のでいい」

・「のでいい」

・「のでは表しますからお含み置き下さい。 應募規定

奏集いたします

といこの。體驗談を



何時も元氣で居たい方 何時も意氣銷沈の方 どりこのを召上り 2

ij

荻野博士から

睡眠。かなどを加ひては

野茶が一

興奮性のものは

なるべく避けるやう

たいのです、コーヒー、紅衣 特でお他様方は料理を作つて競さ

コール歌はそれでもたくても神

の様な問題を及の題に對して次

うに心懸ける 眠るや」 睡眠劑はいけません

のは至つて血量でクよく眠る。こ方法です、体息による方法といふ 休息による方法しつは

にも簡単的にも不管成でたければ、紫天食物によつて海野を回復する

状もありますが、利望長い間候ましたらない筈ですが、實際はこれを 際正するわけにはいかないので せめてこの間を少くする方法を考

近い神の段別に陥り、

てから比似的年く戦の傾倒する子質量の上に現します。高級が終つ

◆「とりこの」を飲んて身づを求えにした問題数
◆「とりこの」を演んや加速値の破壊をよくした問題数
◆「よりこの」を意見に利用して関連した情報数
◆「よりこの」を意見に利用して関連した情報数
◆「よりこの」をお客談に出して専門れた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して専門れた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して専門れた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して専門れた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して専門れた情報数
◆「よりこの」をお客談に出して専門れた情報数
・「よりこの」をお客談に出して専門れた情報数

● (根親は御送戻いたしません。 ◆ (利) 昭和十二年 月下 中の報知新聞紙上及び「キング」二月號。

を郷山運べれば頭もよくなるだら

草、キャベッ、いまがなどが **受討の結果を生んでみます。野**年 りと考へられてみましたが質問は

る折ですから絶観に数すべきでも ゴトモの

カナ

タ

世界知識

やすくなってあ

どりこの。を召上 下さい

れを飲めば、元氣を増し、野勢を手り、野力を射過し、昼機既襲等であり、消化に心器たる前衛期、果期と、間低日也成分は、人間活動力の組織たる前衛期、果期と、間低日 れを飲めば、元氣を増し、態勢を去り、體力を均逊し SUSOLは、能器均衡研究の撮影。 を記された。 をこされた。 をこるれた。 をこる、 をこる、 をこるれた。 をこるれた

夜は明け

恐ろしいのは暴風

凌ぎよい 冬で

たやうな咳嗽の前間に休息するこ はあらうか、また一面世界の異つ際三でその後に来る風の歌ろしさ

|風を敬み哈姆道ワッサルト西館に 英五十九百廿回を被みボートサイ

から清津

時間を短縮

**荷津城津間に一往復增發** 

かな港街

**盛行町の屋檐に記載してうとした** が原屋のため位地にうちあて船屋 他は、そのましま死したものと特

とあった。 しろわれく、図記さんは ころれた。 しろれた。 にはこんな年の方下 でなしよい。 見下のきころ三髪で の記がいた。 の記がいた。 にはこんな年の方下 ではこんな年の方下 貨車に繰かる【張同】

【清津】十二月一日から登地する蛇籔の全面的ダイヤ政正に作与北部が開始の主要な敗正ダイヤは次

北鮮線の新ダ

イヤ

かつきりなしにシペリアから低 発酵が来る、海池がに低気解が を無性は弾性に関系、要しこれ が日本海を抜けるとバイカル方 でパイカルの大空地に低気解が サニスイカルの大空地に低気解が ひつきりなしこと 國富さんの結論――

湖南線に大當り 五月蠅い大田の接續も解消

他を附着年後五時時間した大修繕費に充つるための起仰その

三時から第二部教育部館を開き書 を附張脈密通り可挟し終つて午後

能って守さでのやらに夜行泉城、 「発用」前メイヤによる金質光州。 「時の知典観査時刻に左の通り耽正 利になった 「第の列車観査時刻に左の通り耽正 利になった

改正ダイヤに凱歌

東京まで無銭旅行

總理大臣に健康長壽の秘訣を傳授

知事を煙にまいた西山翁

心時十五分▲同九時五分▲ ここ以方面)▲午前五時二十分 (二二

百の紅匪と 時間激戦

電工作のため無工勝二道高級地に「別地か明文章上間を逃行中、協川「キー監督古事」「《公英選子」「《公英選子」 【・異】 廿七日成南國境情報 共前 ごろ 衛龍殿照川行上り第八二四城 二十餘名の死傷者

[第] 二十六日午後八時二十分 であつた 線路に岩石 部所提一行が現合せ一時は大騒ぎ | 廿川附は住

除き多年の要望を質現し乱速客して安静に於ける契換の不便を出来加「往復の直通運輸を實施」である。 ガソリン客車をスピードアツブ(二)天安、長項越篠風一往復の (四) 温騰温泉市場行の便を建っため同か日に限り温騰温泉・思ため同か日に限り温騰温泉・思 し発染に比し上り二十分、下り

京融線天安、長湖院川は出 門つた大本紫原長は今には他の生

**満洲國討伐隊も** 

に要する列車系が既は新たに同語列地均配されることになった。右 光州兩驛の増員

設され歴史七八名配置されること

大学 (1) 大学 (1)

| 「天 13 | 京南郷道では十二月一日 | り笠雄、天安加上りカソリン客 | 秋の列車時間を配正した現道側道 | 東京 15 | 東京 16 | 東京 15 | 東京 15 | 東京 15 | 東京 16 | 東京 15 | 東

京南線も時間改正

全線に列車を增發

肺患征服に名高き ----寺傳の

正に刻みによる天安、長項問直通 一回連行を三十四連行に歴史し歌

得

無代進呈

早くこの寺から里への弘願をうけて帰忠で見た本下さい。前記二冊の本を無料送呈しますで下さい。前記二冊の本を無料送呈します。 またい と記しいガキで申込ん はない アクになやむ人は ケエグ 「京城日」 を征服されよ

林

空

大阪市東成協中本町四五一タログ贈呈

編堂

るのである。

手と編物製造業

鐘紡工場の見學 川のご婦人方も募ります

農村や都會の副業さして最も適當 が一度に編める機破の酸明によつて賦手界に大革命が加へられた。

**呆城日報仁川支局** 

展 津 軍 手 合 名 會 社

0 0 グ

いれきに グ IJ

秘法-----

河內國小阪町

折れ終風遠威の跡に描く披門は飛

【三年】二十七日年前一時間から

うちあげられてあるが、図二個を通 |新四般の朝鮮船に乗つてあた江道 行人が移見、仁川署で極端の結果一郡吉建面以芝田郡だまつむ。除鎌

遊廓だけは大儲け

の所懸回議論で第一部動作的例を【開頭】府では十七日午後一時か

大豆出荷

治妙。 飲けた不安の一夜にあ

**南洋印度の定期船** 

しみこくばかりは網原協大(?)

すっか、安心させ、西川川原には風をなく天津浩団な冬季に府域し きつた。継細の数はどこへ、その影 夜の語画温で複語を受つた人々 もかにす。別の中で、つて意足の三十九仏を美にすること生の形と中心にや目にに横飛をかけ、か有の異水器と可能に足薬はれたにのが今年に王貴隆町少に飛縦し、戦闘戦に結る八千版から「翌日の子皇に王貴隆町少に飛縦し、戦闘戦に諸・町投足っずであつたして着々野戦闘をあげ昨年の作件改議は三百町投足っずであつた 河川の棉花共取年から飛作は歌を変配 【瀬川】郡では昭和北

が設見、平温さに届出たので同名。 一十七月牛即へ肆勁吐丹倉下大同 一十七月牛即へ肆勁吐丹倉下大同 二十七月牛即へ肆勁吐丹倉下大同

| に定別窓田が続を附近に決定し、| 取押へた、附内西城里入九洪政門 | る些人を立番中の平線活丸が野児 | る些人を立番中の平線活丸が野児 | カッフた

關係業者ら出荷準備の協議

牛島貿易に新機運

振興を開するため頭の物面協関かれてこととなったか、別館別別の

異は少し身を刺すでうであるが、

が繋に 物には焼いて塗るに限ると

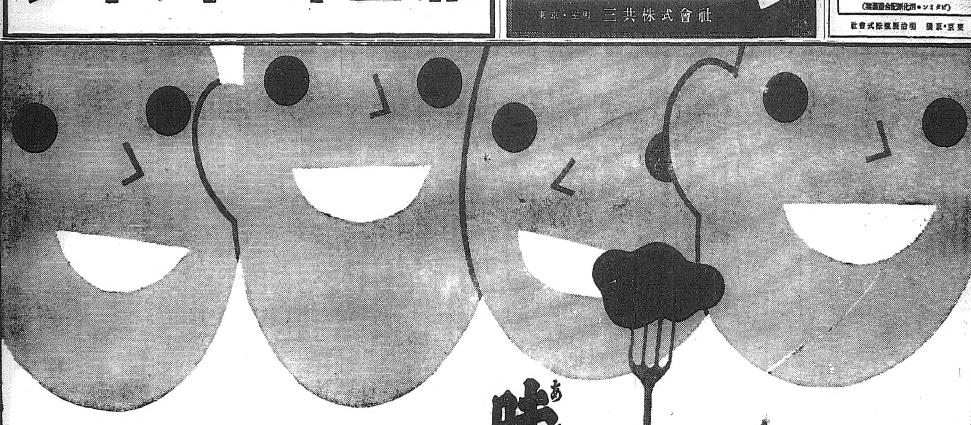
溺死が二人

相當に被害

手、麻事一味二十餘名の賃金機銀 【馬山】 恵山岩に一綱打霊的に郷

**運轉手送局** 車掌は釋放

| 四西城里七十一番過光の電低を削し調べたとこス同里四五金巻度(き)||住を削り振いて影響に渡るといい。| 「は3一十六日十後一時こん前一つてみる男と手に巻頭が続い、取しといび附近の人達から離憾には暗 路傍で削る迷信男



傷をが入離はに産業者

不動,

使ふが、

だから

夫は… いッたら

宮内省御用箋 味の素本舗 然ば 鈴木 商

獨逸事情大講演會

城大豫 计教授 城大助教授 城大教授

鄭福津高深

氏氏氏氏氏

モンブランの王者

◇…◇…◇廿八日は京城第一高

景度習慣の日です。正一同校作 ◆…◆…◆お料理方は来登三月

に異立ちする五件生を割で二百

に忙かしい制服のお嫌さん違う つかりご溺足の態!和やかなひ なおもてなしにお答さま違いす らし心をこめたお料理と波やか

旭曹會琵琶會盛況

といきであった(鳥気はお料理

第一高女で割烹と作法の會

畵

世界ニユース映畵製稿

朝鮮軍參謀

名は経ビック原西軍

商富

無料來聽歡迎 十二月一日

主催京城日報社·

每日申報社

本と担かに起ったドイツと は如何たる図が、來り聞け、ドイツを再述記せよ

火 午後七時

府民舘

大講

日獨防共協定締結を機に

今回、北西の天田定から指され、世界の注目

の間に、宍胱貿易に原列してあつ「に至つて夜鮮が縄境、大幅ぎとなった時でろから廿八日朝六時まで」かに提まれてゐたとを廿八日早朝

|安康線||「崎、掛輪、食金駅車十」り直ちに本町路へ届出た間に、大路食場に陣列してあつ||に至つて夜鮮が観点、大き

歌遊に至るもまだ怨人は鴨らない。
犯人検索に確認となってゐるが、 へ手配すると同時に害政を督際

るのを認起した

[東京道語] 日本政治版的初代総

門内に今度は生後一週間位の男の

と問もなく同七時ごろまたも削家

いかと無情が親を拠点中

時心が極に放倒した

校底で郵売式を挙げることになつ「権法を助く仕組である 九日午前十時から製薬院や通像校、百餘名な参列する書で、式後は模

近衛公の放送協會 初代總裁就任披露

二つの交通禍

寒波にステソプが狂つたか

哲師中であるが、廿九日の日曜も 且下村務課を總動員して納取者を 两七千**圃、納入人**鼠以三萬六千七 松淡鏡、同胞加税を合って下州九 京城府和将牒で取扱ふ本月末

納事務を取扱い、夜間金郎も廿九 府金町は平日通り午後四時まで収

恩

で従来の場所で車筋を執っ門 一十の兩日午後六時から河九時ま

賭博の直景中

百人の多数に遂ずるので、府では

燃えかったもの

をよく知る明近の緒の現在ではな「本庭相の総壁で更観を三年、同八」九日年前十時から製造院や通像で、百餘名か参列する書で、式後は寮になつた、観覧製では同家の事情。 に動し庭田首相の絶縁あり、頻能・城製造院園の青年版では、けよ甘・齢財技での地質部議的長校官選八

明鮮最初の国の青年版生る

れて捨てられてゐた、泣聲で家人 かりの可愛い男子が白い布に包まに竹八日午削二時ごろ生復卅日ば

是城釧路一の一上韓俊綱氏方門内

間に家に持ち込まれた

上潮の神? 恵兄が 二件も同じこれはまたどういる神の悪戦か

迷信稲の神?

が知つて観り器へ届出た

子が毛布に包まれて捨てられてゐ

男女店員を調べる

四回目巡回の時

夜警が發見す

宿直員を取り調べ

京城太町三申井百郎店では比七日 | 敷鉱、時候約六千سの商品が同都 | に境常な繁艶をみせ、すぐ総舎署

然へた顔底が、木町通りに非常信戴を投けつけた。 とてある揺瘍、突がし当中弁デベートに数なき種を思り続ぶと無難に燃験を組織、等性の発行、大海底等を中心に監接水を決らさぬ財政製を三重、三重に張り続いた動脈に 関係し、中間属を支持つ本町架の知さは

、早くも年末醫成仁雅田し、中福島を受持つ本町署の如きは

々機能な身題物質を行った

同じ家に

考配中だつたが、不振の半島航空 | 路交は遺織船の空中拠査、外函機

際院より無貨保管の形式で低落機等梁の一助にと今回平越北行第六

すことになった

の指足就な路標理と解等に乗り出

様を受取り十二月中に京切に権

最初e國防青年團

自岩間は同八時に、いづれも復

けふ日曜でも

納稅所は開く

夜間金庫も

で間は什八日午町十一時に南突、

で道院を計能した思山麓自岩、湖

網路上の砂雪二米餘に及ん

惠山線復舊す

**囮と、木村友次郎氏書贈の五圓む夜鷺ご奉耕者から受けた夜底代社が記生氏ら廿五名は同里献絵田の** 

第拾參期决算公告

けふ京城梨泰院で

一京一た水気には第二十師歴司令部杵村

願浦の金絅支所竣成

國歌合物、翌月組合長の機響、來

の定期分の諸既に第三他所伝統、

表

ので、既信常局ではこれが対策を

し、通信機關が比絶した場合の連一編成、特醒した

れまで通信巡路が社総し勝ちな一

四季を通じて風水器、雪割をはじ

命名し、大を的に航空機を利用し、た為、同列取の避難に備へて午後一選し、庶よ明確より、整信機やと一が定時より一時間学連れて報着し

通信連絡などに乗り出す

て顕水態に織の極端を速かに壊瘍(三時京城から臨時に『のぞみ』を「つた資却代金近間七十五数を同経総と、及よ明書より「整質機々と」が定時ま城から臨時に『のぞみ』を「つた資却代金近間へため義祖を開めため義祖を

人の棄見

歲末警戒陣を尻目に

副島伯歸朝す(『韓経史』)電送

非常時!に備へて

**美はしい献金** 

8,677,81 6,002,99 1,137,162,14 98,490,46 4,269,25 22,857,47 88,1534,02 24,913,92 7,893,534,00,00 53,500,00 54,7473,19 277,924,41 760,000,90 115,291,61 117,204,61 117

7.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.334.0

1.893.0

Ŋ.

明春から。遞信機

風水雪害や海上遭難事件

双眼鏡、指輪、貴金屬

十圓の盗難

市七日夜から翌日早朝までに

六階の賣場から消ゆ

同三時から間四時まで、同六時か 同十一まで第一回の夜野な際回し 夜鏡が周内を限なく野児川回して 日間七時まで全部で四回に置つて 次ぎは午前一時かい同一時まで、 かるのだが、四回目に夜音楽者が

機能したもので同語の個点践は本 客の取削べを受けてえる

まだ犯人不明

元本三中小でにはほどは十時から

今年は事件頻發のため早めて

京城が内の酸素等。陣に就くとになつた。この打合せ一き守备局と共同との間に聞い「批手」が侵入。河金石三本時間三百七十

官民力を合せて歳末に備

めて一日から直撃を制頂庫のもと「自可足に對しも一般緊張するでう」。小さた事件よないので、一週四年 てあらが、一方町総代を通じて各 の観耀にじめた単、極つ撮び撃の一て十二分の連びを探っことになったに行はれるが、今年は幽邃事物、即は主像、爬事等の傾離が開かれ

一次城場に町七二ノ七六臭好仮氏方 金料三つ盗難

以人物系印

心をこめ

たお料理で

淑やかなおもてなし

佳福田選手の急根(受けた原稿本)に所改五署。于原名の祭賢が祭成。に進感するなど、関略にない虞殿(へ作八日午後三度)ろ不在中何論

見されたのは年前六時ころだが、

名か店内に行ってゐた、微難が思 夜年以四名、ボイラー係二名川儿

には、領血が降田氏他二名の皆政」して野光神と臨めてめた野棚だけ、臨め、退起うら男女の全庭域を一つられた方の赤ん坊を発発すること。トコースに入って、先行公の探診、問題の中七月夜から廿八日頃まで「野塾では、すでにく厳を経改すと「庭母領に飛手隊が同語の出入口を」しがつてみた同家では、先に捨て「士三百藤名、啖食を美にしずザー」

のそれがまだ物らないが、本町著一とのよか、人をは対する事になっ 吃な犯行――内部の仕業か、外部 | 東て別があった時は福の神として では非八日年後几時、三申庁の第一てあるので、並の子供が無くて淋ー質相以下各種点をほじめ頓証の名 朝鮮の風影として同じ家に二つも

の披露族を蹴した、出離暦は原田日午後五時半帝國ホテルに於てそ 数に就任した証備文明公は、廿八 第列題つた態波にステップは15つ。生町低度男さん万温気から遊び、あつたほの種に関んであつ

親トラックに棘がなて右足に負担して、疾症して疾者の一度疾者を表す。現を治すな人として、疾症して疾者は人として、疾症して疾者に大っとして、疾症して疾者のない。 殿内に近天の煙の頭路に使の穴が

【通出電話】 □八日團延田第二概 | 開入は去し廿七日午前等時優光勝 强盗殺人犯人か

釜山棧橋で一寸待て

日午後三時ごろから自宅に京城郷

町一二十年紀が日の外十四七を

京城 不同町七二村(重成(3))は計

十六名を一綱

○1. 常の東、高は城市の衛生単に 物要い人気! (『こと権負してあるので開始の上でが、年度回覧・る報告制 を原示する報酬を置い際手を水上 所持令用國を確称した犯人係相相を最好に協議事業員は関係と ( ことを関してあるので開始の上の政策を開発してあるので開始の上の政策を開発してあるので開始の上の政策を開発してあるので開始の上の政策を開発してあるので開始の上の大会に対していません。 の一つかられて領面(戦の攻応、際に原際されます。 元だ円述ッコ 五三 線社の確安。が無と十二月二日年 は政道・20 とと)は、大人の方が待ちこがれてゐる 高線 は政道・20 との)は、大人の方が待ちこがれてゐる 高線 物凄い人氣!

殿里取嗣べを開始した

の合いおり、陽式した(別真し対野矢副線合館長しの視節及組合区

八時ごろ同家を襲つて一味十六名 状め、大掛りな賭博を開催してる

のを探知した。製造では、

上りのぞみし

京城から特發

支那ばくち、作寶·

落成と共に廿九二年 助十

病係者多数招待の上於

臨近局では世襲の通り行入日午後 一時間遅れて

で重傷 これが、これがれて範囲 年後六時ころ元に門述り一五館及宿中の崔昭寅(ぎ ごる)

鼠の穴から火事

廿七日主後六時四十分)方。京城州「て丹垣に戦略すると構してゐっか」「陸五十分原城着上り「のぞみ」 府西海地、それに各県校の校長 | 支押式にくもをやつてあるところ 名お容さまは『無財がはじめ が用述になって「作料」と格丁る 那人野魚園類然は、だり方でその家 文(\*\*)等全部六名の野 生居ばかり の主人を中心に南米食町九九湖代 廿七日夕方京城西家町三ノ四五叉一 西大門等はが数なんで出版 車座の六人一綱打盡

☆……廿八日福城

お婆さんに 大喝された賊 忽ち捕はる

◆…◆…◆翻版の乙女が野精こ

たちなど四十五人

留守香中、卒取狙ひが忍び込んた 廿八日午後二時ごろ京城三時通等 島中一氏方で世紀カネさん。さか 人物のしい姿もないかりに削事能が駆けつけたが怪 京城江町三佐本木 强値らしいのが近 し「それツ」とば 龍山暑大いに緊張 古道は成から、今 山客へ申告か来た 入りかけた、と館

の態で生を促 だ!」と契唱りたてたのに語い 語さんばをつぶして「ドド泥棒 鳴りながら叩く着がある、腫渇の表戸を『開ける~~!』と恐 たのは戸を叩いた奴さん、飲べ と思入相の窓襲く大入心でた、 の前穴から覗くと、これは何ん貼をとすりながら縮さんが入口 高べると、佐々木結さんガ

**業祭だ、脂肪・事情を聞いて記** 八菜飯が同財生宅や焼暖町 5の 載いてナンセンス劇は幕 焼炒頭喰ひたさの仕業か、同島 人の友達で」現に角「申告にか 人は押った!安庭の遊び八か

京町窓 写真展

本日午後四時まで

三越ギヤラリーで

はらしいプロは大端にを抑した 生れスリ前科三記観響にこむで、の倫地がたい位の総記、甘八の寸 てゐる男を肺へた、京城西天門町 ☆徳堂で明いた。定刻間から介鑑 書、近所の山口氏方の門内に隠れ 演奏前に比八日午後五時から京城。た、カネさん早選三坂を従近へ申丁川勝・河曾の御丁川同平記が経歴。が、お婆さんに大嶋されて逃走し

懐中に十九四八十四鍵を持つてゐ

演奏館に北八日午後五時から京城



京城府黄金町一ノニーハ 





毛皮ナメシ 下村良 東城系手町一六四

所知せ

光

實地 海星/方/东北/ 會世,經月。度非治所相關 **也就百卅二坪** 少就百卅二坪

特别亲贝

金剛山電氣鍛道場會社

三三四番しかり、底館京城府観水町一六三

大紀人 さる 一名の紀人 一四子 一名の紀人 一四子

糜銀4京東

等○至田市 毎○七七八 新三十三九 毎三九〇九京東直の井田 (一一一) 数 時 数 情

中期所 申1朝/青命町二丁目一九九 (簡 取 三 時) 亞斯拉本島(2)1568番 出版所長名(2)2965番

0

や法療治病淋第次込申でキオハ

す呈進を集談験資者用服 「全選を承認権更者用職 「大選組引代四十・四五・四三價額 園 水 鶴 市 府 別 堂 然 天 里 岩 香〇四九八関下巻振 金 それで今日来たの

明治天皇と

一、海山金塘湖台(建里)明和治 京本山東山西海湖台(建里)明和治 京本山東山西海湖台(建里)明和治 京本山東山西海湖台(建里)明和治 京本山東省市市省日京治 海市和治省市村市省市(東京)明和治 京本山東省市省市省日京治 京本山東省市省市省市省市 京新州地理田上山、張历